

ANNUAL REPORT >>>>

2024

事業報告書



FAIS

Kitakyushu Foundation
for the Advancement of Industry,
Science and Technology

公益財団法人 北九州産業学術推進機構



はじめに

フェイス
公益財団法人北九州産業学術推進機構 (FAIS)
は、2001年に地域の産業を支える知的基盤として
開設された北九州学術研究都市 (学研都市) を中心
に、地域に集積する大学・研究機関と産業界との
連携をコーディネートする機関として、また、中小企業・
ベンチャー企業の総合的な支援機関として活動して
います。

現在、学研都市には、北九州市立大学国際環境
工学部・大学院国際環境工学研究科、九州工業大学
大学院生命体工学研究科、早稲田大学大学院情報
生産システム研究科、福岡大学大学院工学研究科の
1学部4大学院、そのほかに12の研究機関や50を
超える企業等が集積し、研究開発や人材育成等が
進められています。

こうした中、FAISは学研都市の指定管理者として
共同利用施設等の適切な管理運営を行うとともに、
産学連携による研究開発の推進や地域企業の経営
支援に取り組んでいます。

2024年度は、前年度から引き続き、半導体、次世代
自動車、ロボット、AI、GX (グリーントランスフォーメー
ション) 等、今後の地域産業をけん引する未来産業
分野における人材育成や研究開発を支援し、産業

技術創出の基盤づくりを推進するとともに、ロボット・
DX推進センターや中小企業支援センターを通じて
地域企業の生産性向上や経営課題解決に向けて
支援を行いました。

また、地域DX (デジタル技術を活用した新たな地域
経済づくり) の推進に向けた地域企業等による自律的な
活動を支援するため、新たに地域内でのデジタル化・
DX推進の機運を高める取り組みを開始しました。

さらに、「地域に開かれた学研都市づくり」を目指し、
「ひびきの祭」や「デジタルクリエイター教室」等のイベ
ントを通じて地域との交流、連携を深めるほか、国内外の
サイエンスパーク等との交流や首都圏等における情報
発信を推進し、学研都市の機能強化に努めています。

2025年2月には、北九州市において、学研都市を
バージョンアップする新たな戦略『G-CITY 戦略』が策定
されました。この戦略は、「GREEN (環境)」「GLOBAL
(国際性)」「GRID (つながり)」「GAKKEN (学研)」の
4つのGを軸に、世界を牽引する新たなイノベーションを
創出する拠点 (G-CITY) を目指すものです。

FAISはこのビジョンの実現に向けて、学研都市の
「知」の集積をさらに進め、北九州地域の産業競争力
強化と持続可能な未来づくりに貢献してまいります。



目 次

公益財団法人 北九州産業学術推進機構について	1
学研都市の一体的運営	
北九州学術研究都市の概要	3
学研都市の進出大学、研究機関、企業および産学連携施設	5
アジアの学術研究拠点の形成	8
産学連携の推進	
産学連携の取り組み(全体フロー)/ 情報収集・発信、産学交流の促進	10
研究開発支援	12
研究成果の特許化と技術移転《北九州TLOの運営》	15
学研都市を中心としたGXの推進《北九州GX推進コンソーシアムの運営》	16
技術拠点化の推進	17
中小企業へのロボット導入支援、DX推進	20
中小企業・ベンチャー企業への総合的支援	
中小企業の総合的支援	27
財団運営	
評議員および役員名簿 / 決算資料	29





Kitakyushu Foundation
for the Advancement of Industry,
Science and Technology

■ 基本理念

公益財団法人北九州産業学術推進機構（FAIS）は北九州地域における産学官連携による研究開発や学術研究の推進等を行うことで、産業技術の高度化や活力ある地域企業群の創出・育成に寄与することを目指しています。

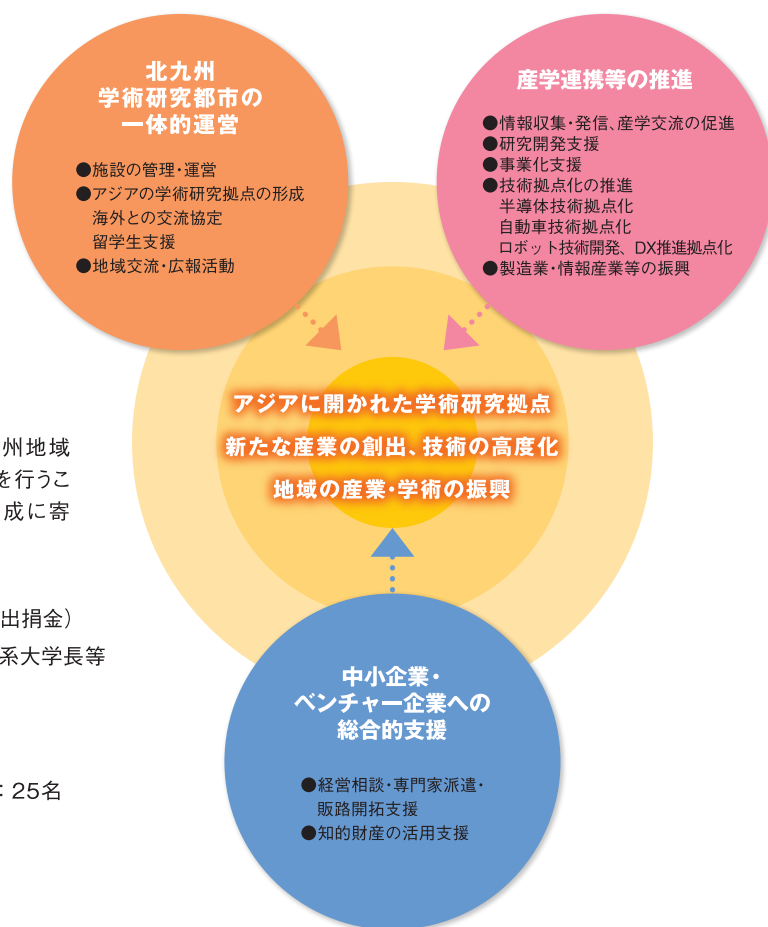
■ 理事長 松永 守央

■ 基本財産 2億8,550万円（北九州市及び民間企業からの出捐金）

■ 役員等構成 [学界] 学研都市参画大学副学長 市内理工系大学長等 [産業界] 商工会議所等経済団体 [行政] 北九州市、福岡県

■ 職員数 74名（令和7年5月1日現在）、市派遣：13名 民間出身等：36名（うち出向12名）、事務嘱託等：25名

■ 令和6年度事業費（支出決算額） 20億700万円



▶ 事務局

総務部

北九州学術研究都市内にある共同利用施設の管理・運営を行うとともに、進出大学間の連携・交流を促進し、学研都市の一体的な運営を行っています。

また、九州ヒューマンメディア創造センタービル（八幡東区東田1-5-7）を設置・運営しています。

▶ 産学連携センター

産学連携部

北九州学術研究都市を中心とする、産学連携ネットワークの形成や新規プロジェクトの創出・運営、新規事業展開の促進によって、未来産業分野の集積や新ビジネスの創出を進めています。

- ◎産学連携のコーディネート ◎北九州学術研究都市の研究シーズの発信 ◎産学交流の場の提供
- ◎産学共同研究プロジェクトの企画推進、研究成果の事業化支援 ◎産学共同研究開発への支援
- ◎北九州TLOによる技術移転支援 ◎コミュニケーションスペースの運営

中小企業等の研究開発の取り組みに対し「Go-Tech事業」など国の研究開発補助金を活用するため、事業管理機関として補助金申請、事業計画の推進、事業管理等を担い、地域企業の“ものづくり競争力強化”や“新たな事業の創出”を支援します。

- ◎研究開発支援 ◎事業化支援 ◎人材育成 ◎地場企業支援

GX推進部

カーボンニュートラルを成長の機会と捉え、官民GX投資を呼び込み、グリーントランスフォーメーション（GX）をより一層推進していくため、北九州市と連携して、北九州GX推進コンソーシアムを設立し、「稼げるまち」北九州市の実現を目指した取り組みを行っています。

- ◎最先端の研究開発・社会実装 ◎GX関連産業の集積 ◎GX人材の育成
- ◎地域企業のカーボンニュートラルやグリーン成長に向けた支援

▶ 自動車産業支援センター

自動車産業の拠点化を推進するため、産学官連携による人材育成・地場企業支援・研究開発支援を行っています。学研都市3大学が運営する連携大学院の教育プログラムの支援、地場企業へのアドバイザー派遣による教育・生産性向上等の支援、また、企業技術者と大学研究者による研究会活動をベースに共同研究開発を促進します。

◎人材育成 ◎地場企業支援 ◎研究開発支援



▲クルマの未来館ひびきの
(EV車を1台分解展示等)



▲連携大学院
「エンジン分解・組立実演」の様子
(協力:日産自動車九州株式会社)

▶ 半導体産業支援センター

北九州市域の半導体企業の活性化のため、半導体を一から学べる基礎講座の提供、半導体産業関連企業のマッチング機会の創出、大学との産学連携や企業間連携の支援などの取組みを実施しています。

◎人材育成・人材確保
◎販路の開拓や企業間交流の促進
◎技術・研究開発の促進



▲開発・試作支援設備:半導体試作設備の例
(フォトリソグラフィ工程)



▲人材育成:
半導体製造工程の実習教育の様子
(クリーンルーム)

▶ ロボット・DX推進センター

ロボット・DX推進センターは、地域の中小企業のニーズに応え、ロボット導入やDX(IoTの導入、業務のデジタル化等)推進をワンストップで支援するための機関です。導入支援、操作体験、人材育成等の取組みを通して、ロボット導入やDX推進に意欲のある地域企業を総合的・一元的に伴走支援します。

◎ワンストップ相談窓口の運営 ◎ロボット・IoT機器等の展示・体験



ロボット産業推進部

地域の中小企業へロボット普及を推進するための導入支援事業や人材育成活動を実施しているほか、市内のロボット産業振興を目的とし、北九州ロボットフォーラムの運営や研究開発の支援を行っています。



▲展示ロボット例

◎ロボット技術の研究開発・事業化支援
◎中小企業へのロボット導入支援
◎人材育成

DX推進部

DX推進による地域産業の高度化や、新ビジネス創出を図るため、北九州市DX推進プラットフォームやSlerネットワークの運営を行っています。

また、専門家派遣等による地域企業のDX推進支援や、経営層や現場リーダー向けの人材育成活動も実施しています。

◎専門家派遣等による企業のDX推進支援
◎新ビジネス創出・事業化支援
◎IoT導入による生産性向上支援
◎人材育成

▶ 中小企業支援センター

戸畑区中原新町2-1(北九州テクノセンター1階)

中小企業の経営革新・創業をワンストップで支援しています。創業や経営の改善・革新を目指す個人や中小企業の取り組みを支援するため、相談窓口、専門家派遣、知的財産の活用相談等を受付けています。

◎中小企業の経営課題解決支援 ◎中小企業向けの情報発信
◎創業予定者への支援 ◎北九州知的財産支援センターの運営



▲北九州テクノセンター

学研都市の一体的運営

▶ 北九州学術研究都市の概要

北九州学術研究都市とは

北九州学術研究都市は、「アジアに開かれた学術研究拠点」と「新たな産業の創出・技術の高度化」を目指し、理工系の国・公・私立大学や研究機関が同一のキャンパスに集積するという独自の試みとして、平成13年4月にオープンしました。現在、進出した大学が北九州学術研究都市の理念を共有して、先端的な科学技術、特に「環境技術」と「情報技術」を中心に活発な教育研究活動を展開しています。

大学等の『知』を活用した 地域の産業・学術の振興

アジアに開かれた学術研究拠点
新たな産業の創出・技術の高度化

新たな技術と
豊かな生活を
創り出す

アジアの
先端産業都市
の実現

北九州学術研究都市の特色

理工系の大学・研究機関、 研究開発型企业等を 同一のキャンパスに集積

- ◎国・公・私立大学(1学部4大学院)
北九州市立大学国際環境工学部・
大学院国際環境工学研究科
九州工業大学大学院生命体工学研究科
早稲田大学大学院情報生産システム研究科
福岡大学大学院工学研究科
- ◎研究機関(12機関)
- ◎研究開発型企业等(55社) (令和7年5月1日現在)

進出大学の教育・ 研究理念の共通化

- ◎先端的な科学技術分野での教育・研究の展開
- ◎産学連携の促進
- ◎起業家精神の育成
- ◎アジアの学術研究拠点の形成

キャンパスの一体的な運営、 施設の共同利用

- ◎学研都市進出大学の代表者で構成する
「キャンパス運営委員会」による
共同事業の企画・立案
- ◎図書室、情報処理施設、
利便施設の共同利用

研究者・教員・学生相互の交流と連携

- ◎進出大学による共同研究、教員等の交流
- ◎単位互換の実施
- ◎進出大学による連携大学院の運営

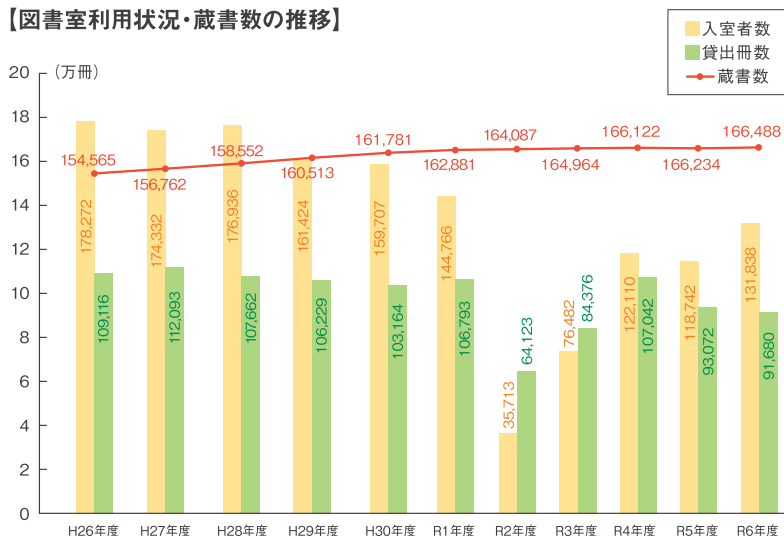
市民も利用できる共同利用施設の運営

学術情報施設

市立図書館とオンラインで結ばれ、他の市立図書館と同様に利用できる一般図書室と、北九州学術研究都市に進出している大学の専門図書を集中配架する専門図書室を運営しています。

また、パソコンを配備した講義室や、遠隔地とリアルタイムでテレビ(Web)会議ができる遠隔講義室等を備えています。

【図書室利用状況・蔵書数の推移】



▲学術情報センター



▲図書室

コンベンション・体育施設

会議場：大型映像装置や同時通訳設備を備えた460席の会議用ホールで、講演会やセミナー、学会や国際会議等に利用できます。懇親会や展示会等に活用できるイベントホールを併設しています。

会議室：数人から200人規模まで、ニーズに応じた様々な形態の会議や研修、地域活動等に利用できます。

体育施設：大学の授業やサークル活動の時間以外は、地域や有志クラブ等の活動に利用できます(体育館・運動場・テニスコート)。



▲会議場(外観)



▲会議場(メインホール)



▲会議場(イベントホール)



▲会議室



▲研修室



▲体育館



▲運動場



▲テニスコート

コミュニケーションスペースの設置・運営

HIBIKINO ODORIVA (ヒビキノ オドリバ)

HIBIKINO ODORIVA(ヒビキノ オドリバ)は、北九州学術研究都市に集う研究者・学生・留学生・企業等が互いに交流し共創していくコミュニケーションスペースとして、令和5年10月13日にオープンしました。

「(階段の)踊り場」のような、人々が気軽に交流する「交差点」であり、下記の3つのコンセプトを軸に利用者の交流を促進しています。

<コンセプト>

- ① グローバルなコミュニティの形成
- ② 分野を超えた学びと研究の促進
- ③ チャレンジ精神やリーダーシップの醸成

令和6年度会員登録者数：421名

令和6年度利用者数：7,172名



▶ 学研都市の進出大学、研究機関、企業および産学連携施設

北九州学術研究都市進出大学・産学連携施設

1 北九州市立大学

国際環境工学部

■学生定員:1,020名
環境化学工学科
機械システム工学科
情報システム工学科
建築デザイン学科
生命工学科

大学院国際環境工学研究科

■学生定員:346名
環境システム専攻
環境工学専攻
情報工学専攻



2 九州工業大学大学院



生命体工学研究科

■学生定員:352名
生体機能応用工学専攻
人間知能システム工学専攻
生命体工学専攻



3 早稲田大学大学院



情報生産システム研究科

■学生定員:460名
情報アーキテクチャ分野
生産システム分野
集積システム分野

4 福岡大学大学院

工学研究科

■学生定員:14名
資源循環・環境工学専攻
エネルギー・環境システム工学専攻

学生数および教員数

(令和7年5月1日現在)

大学	学部	修士	博士	研究生	特別研究学生	学生数計	教員数
北九州市立大学	1,133	—	—	1	0	1,134	87
国際環境工学部	(32)	—	—	(1)	(0)	(33)	
北九州市立大学	—	311	149	0	0	460	—
国際環境工学研究科	—	(49)	(125)	(0)	(0)	(174)	
九州工業大学大学院	—	298	103	2	1	404	43
生命体工学研究科	—	(49)	(54)	(2)	(1)	(106)	
早稲田大学大学院	—	445	135	3	3	586	38
情報生産システム研究科	—	(415)	(124)	(3)	(3)	(545)	
福岡大学大学院	—	6	0	0	0	6	1
工学研究科	—	(2)	(0)	(0)	(0)	(2)	
合計	1,133	1,060	387	6	4	2,590	169
	(32)	(515)	(303)	(6)	(4)	(860)	

()内は留学生数

※産学連携センター内

A 産学連携センター

産学連携センター 1号館

**産・学・官が手を組んで
研究を進める中核施設**

「公益財団法人福岡県リサイクル総合研究事業化センター」などの研究機関、最先端の研究を行う企業、「福岡大学大学院工学研究科」が入居しています。また、コミュニケーションスペース「HIBIKINO ODORIVA(ヒビキノオドリバ)」や研修室、会議室なども提供しています。

- 貸研究室(31室、オフィス系)
- 研修室、会議室(中・小)、特別会議室、特別応接室

B 共同研究開発センター

産学連携センター 2号館

**半導体微細加工技術の
研究開発を支援する施設**

企業や大学などが半導体製造関連分野の研究開発などを行う施設です。ICやMEMSの試作を行う研究開発機器の開放や研究室の提供などを行います。IC試作体験実習の受け入れも可能です。



- 貸研究室(7室、オフィス系)
- 共同利用のIC・MEMS向け微細加工装置群を設置
(イオン注入装置、電子ビーム描画装置、両面露光装置、高速熱処理装置(RTA)、ダイシングソー、ボンディング装置等)

C 情報技術高度化センター

産学連携センター 3号館

**ネットワークや半導体
設計に関する
研究開発を行う施設**

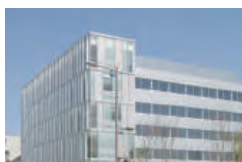
企業や大学などが高度な情報通信技術や半導体設計技術の研究開発などを行う施設です。半導体技術者育成のための研修室や半導体評価・解析を行う機器の開放、研究室の提供などを行います。



- 貸研究室(34室、オフィス系・小規模研究室)
- 半導体評価・解析を行う機器等を設置

D 事業化支援センター

産学連携センター 4号館

**大学発ベンチャー等の
研究開発や事業化を
支援する施設**

オフィス系研究室のほか、機械系と化学系の研究室や小規模ブース単位で使用できる共同研究室を提供しています。



- 貸研究室(36室、オフィス系・機械系・化学系)
- 会議室(中・小) ●共同研究室(10ブース)
- シェアオフィス

E 技術開発交流センター

産学連携センター 5号館

**ロボット、カーエレクトロニクス
分野の技術開発支援やDXを
推進する施設**

ロボット導入やカーエレクトロニクスの技術開発支援、DX(IoTの導入や業務のデジタル化)を推進する施設です。また、学術研究を目的に訪れる方のための宿泊室も提供しています。



- 貸研究室(48室、オフィス系・機械系・化学系)
- 宿泊室(9室、シングル8室・ツイン1室) ●会議室(中・小) ●交流室(1室)

F 学術情報センター図書室
情報処理施設**情報を集積・発信する
マルチメディアステーション**

学術情報の収集提供(図書室)の機能、情報処理教育施設の機能を持つほか、情報コンテンツ制作をサポートする環境を提供しています。

貸研究室賃料

◎2,000円/㎡・月(共益費別 500円/㎡・月)
(例:研究室50㎡の場合およそ150万円/年 光熱水費等別)

※FAISは、北九州市から指定管理者としての指定を受け、産学連携施設の効果的・効率的な管理・運営を行っています。

産学連携施設が充実する北九州学術研究都市には、研究機関および研究開発型企業の進出も進んでいます。
また、北九州学術研究都市の大学シーズを活用した起業も活発で、学研都市発ベンチャー企業も14社入居しています。

研究機関

令和7年5月1日現在

研究機関等の名称	入居場所	研究内容
北九州市立大学環境技術研究所	北九州市立大学	地球環境の変化と地域社会の要請に応えるため、環境エネルギー、バイオマテリアル、情報、ロボット技術等の分野の研究と技術開発を戦略的に推進
北九州市立大学環境技術研究所・Green LPG 研究室	事業化支援センター	LPガスの新技術に関する研究
北九州市立大学 福田研究室	情報技術高度化センター	マンション木軸材用「接着形成造作用芯材」の事業化に関する研究
九州工業大学 次世代パワーエレクトロニクス研究センター	九州工業大学および 共同研究開発センター	省エネルギーの推進、電力の高度利用技術、自然エネルギーの活用等、低炭素社会の実現に貢献するパワー半導体を中心とした次世代パワーエレクトロニクス技術の研究を行う
九州工業大学 未来社会ロボット実装センター	九州工業大学および 情報技術高度化センター	○極限環境に対応可能な特殊環境ロボット群の開発・実用化 ○医療・介護ロボットの開発・実用化 ○工場内自動化対応技術の開発・実用化 ○信頼できるロボットの実用化を支える品質保証を可能とするオープンソフトウェアの開発
早稲田大学 情報生産システム研究センター	早稲田大学情報生産 システム研究センター	自動車エレクトロニクスおよびLSI分野における国際的水準の高度な研究、人材育成
福岡大学 産学官連携センター 北九州産学連携推進室	産学連携センター	環境産業に関する企業のニーズ、自治体の政策およびシーズをマッチングさせ、産学官連携による環境産業振興を展開
一般社団法人HIBD研究所	産学連携センターおよび 事業化支援センター	再生可能資源、炭酸ガスを原料とする液体燃料製造の研究開発
公益社団法人無人機研究開発機構	産学連携センター	無人機全般について調査、研究および技術向上についての知識の交換、情報の提供等を行う場となることにより、無人機に関する研究の進歩普及
公益財団法人 福岡県リサイクル総合研究事業化センター	産学連携センター	資源循環型社会の構築に向けた、リサイクル技術の開発や社会システムの確立に取り組む産学官民による研究開発および事業化を支援
NPO法人運動脳科学研究所	事業化支援センター	小型の脳活動センサーを使用し、運動時の前頭前野の血流量を計測
特定非営利活動法人あそびとまなび研究所	事業化支援センター	竹コンポストを利用した地域における生ごみ減容の最適普及促進の実証研究

企業

令和7年5月1日現在

入居場所	企業名	事業内容	入居場所	企業名	事業内容
産学連携センター	石田特許事務所	特許、及び実用新案・意匠・商標登録の出願手続の代理、特許出願等に関するコンサルティング		LOVO&Co.	クラウド上の生産設備を利用するスマートファクトリーの構築
	プラントメイクRISE(株)	焼却炉設備におけるコーティング剤開発、3Dスキャナーによる構造計算ソフトの開発		(同)ノーエン	農業における気象データ活用に関わる研究・開発
	(株)アイシン	画像認識・空間認識、車両制御等の要素技術開発		フォースウェア・パートナーズ(株)	ロボットを使った自動化・省力化システムに伴う、ソフトウェアの開発、システムの実証作業
	ASTROCEAN(株)	設備の受託開発、エンジニアリングサービスの提供		(株)On&On	DX技術を活用したオリジナル和菓子の開発
共同研究センター	(株)セキュリティ情報研究所	システム開発、システム保守(24時間365日)	事業化支援センター	● RoboPlusひびきの(株)	メカトロニクス設計・製造及び販売、コンサルタント業
	(有)K2R	触媒反応を利用したラジカル種含有の水の生成装置の研究開発		(株)シンコム	半導体関連及びAI事業の受託設計
	(株)Power Diamond Systems	ダイヤモンド半導体を使用したパワーデバイスの開発		(株)ココプラス	エクソソーム化粧品原料の研究・開発
	● (同)数理科学研究所	数理科学に関する研究及び開発事業		(株)Windy	病院、薬局で使用するソフト開発、自動車工場での作業分析ソフトの開発
情報技術高度化センター	(株)ITS	組み込みシステムの設計・開発および、半導体集積回路等電子部品の研究開発		Japan Quality(株)	半導体製造現場の生産性向上、事業拡大並びに多様な半導体装置の再生やメンテナンス技術の向上
	(株)華仁サービス	外国人留学生の誘致及び就職に関するマーケティング戦略の研究		● (株)センタシストアカデミー	低消費電力のエッジAI半導体の開発 半導体設計人材育成、半導体製造人材育成
	アイサテックノロジー(株)	自動運転に係るコンサルティング事業 三次元地図データベース整備のためのソフトウェア研究開発業務		JETS社労士・行政書士事務所	産学連携促進を目的とした中小企業の経営支援、補助金助・成金申請サポート
	● (同)共創テクノロジー	VR、Webシステムなどソフトウェア研究開発、イベント制作、3Dプリンティング技術に関するコンサルティング		(株)J.A.M. Engineering Institute	次世代ロボット用アクチュエータおよび次世代高精度加工用高速主軸モータの要素技術研究。次世代リニアモータの効率化研究。省エネモータ、宇宙用モータの要素技術研究。
事業化支援センター	● (有)ビー	画像処理システムおよびソフトウェアの研究開発	技術開発交流センター	(株)merihari	被災地向け生活水供給ユニットの開発、雨水貯槽システムの開発、貯蔵水や生活水の迅速衛生検査法の開発
	● 実研開発(有)	臨床工学教育機材、光伝送生体信号測定装置の開発・販売		(株)SmartOne	人協働ロボットを使用した自動化システムパッケージの開発、システム構築に必要なハード、ソフト開発・商品化
	● (株)ブラテック	Webシステム開発、アカデミックソリューション事業		(株)宇宙技研	衝撃試験機器の開発、設計、組立及び宇宙機器の設計組立。教育教材の開発
	アネーラ税理士	監査業務、各種税務書類の作成、税務代理、税務相談、税務コンサルティング		(株)シンコノハイテック	半導体設備の設計/製作/調整、LSI回路設計/レイアウト等
	(株)AKシステム	半導体製造装置製作技術等の新産業分野(医療・福祉等分野)への応用研究開発		吉川工業(株)	RF-IDに関する研究開発事業
	● アーティックス(株)	IoT、人工知能、ブロックチェーンなどに関する研究開発		(株)C&Gシステムズ	金型設計・加工用CAD/CAMソフトウェア開発
	豊光社テクノロジー(株)	分子接着技術を用いた曲面配線技術および高輝度・高信頼性LED照明の研究開発		シャボン玉石けん(株)	無添加の化粧石けん、家庭用洗剤、消火剤などの製造販売
	● レアメタル技研(株)	リチウム吸着剤の大量合成による事業化		(株)トリコ	電気部品の開発・修理
	環境エネルギー(株)	バイオジェット燃料の開発・実用化、バイオディーゼル燃料の高品質化		● (株)FILTOM	プラセンタエキス(豚胎盤液)を使った化粧品の開発・製造・販売
	● ひびきの電子(株)	電界共振型生体センシング及びセンシングデータ解析システムの開発		● (株)セキュアサイクル	行動認識技術の汎用化プラットフォームの開発およびセキュリティ事業
	(株)ワークス	ワイヤレス給電技術を利用した消化管内自走式カプセル内視鏡の開発		KOA(株)	電子部品、センサ素子、センサモジュールに関する情報収集、情報交換ならびに産学共同開発
	● (株)ロボサイエンス	小型水中ロボット(船底清掃ロボット等)の開発		(株)正興電機製作所	スマート保安に関する技術と炭素に向けた再エネソリューション技術の研究開発及び大学・企業連携
	(株)アポロジャパン	スクリーンコードおよび自動運転の基盤技術開発		太陽日酸ATI(株)	ドライアイス洗浄装置や金属3Dプリンタの使用方法に関する研究開発
	HMコネクト(株)	除菌・抗菌・消臭液の効果検証及び効果持続性のある商品の開発 クリスタル硝子内部にレーザー彫刻した絵柄のLED照明演出装置開発		プレミアムエンジニアリング(株)	協働ロボット(アーム型、自動搬送車AMR型)を使ったシステム開発、エンドユーザーがロボットを操作できる迄のトレーニング等
	(一社)進路指導キャリア教育支援機構	中等教育における進路指導・キャリア教育・就職指導の研究		東芝ナノアナリシス(株)	半導体メモリの解析・評価、パワーデバイス等の半導体の解析・評価
	● ハイנטツテック(株)	細胞内への物質導入・細胞内物質抽出のための、ナノ構造体を用いたツールの開発・製造、およびそれらを用いた研究開発支援			

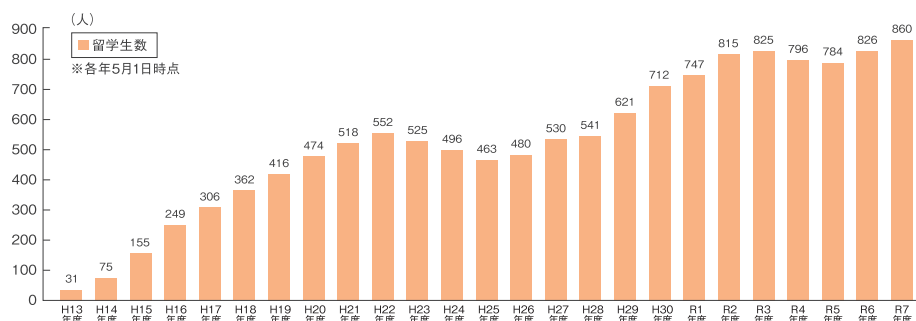
入居企業数：55社

※●印は学研都市発ベンチャー企業(14社)

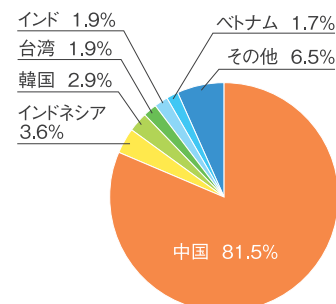
▶ アジアの学術研究拠点の形成

北九州学術研究都市の留学生

【留学生数の推移】



【出身国内訳(25か国)】



留学生の支援と優秀なグローバル人材の育成

FAIS留学生就職支援プログラム事業の運営

北九州学術研究都市内の3大学(北九州市立大学、九州工業大学、早稲田大学)の修士留学生を対象に、日本企業への就職を支援する「FAIS留学生就職支援プログラム」事業を実施しました。

- 受講生 24名
(北九州市立大学2名、九州工業大学2名、早稲田大学20名)
- プログラム
 - ・就職支援講座(就活セミナー、模擬面接セミナー、就活カウンセリング、身だしなみ・マナー講座等)
 - ・就活日本語講座



語学教育センターの運営

留学生を対象に、日本語の講座を開講する語学教育センターを運営しました。

- 日本語クラス
 - 春期 初級1.2.3.4、中級会話(5クラス)
 - 秋期 初級1.2.3.4、中級会話(5クラス)
- 令和6年度受講者:120名



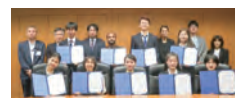
留学生交流事業への助成

学研都市の留学生と地域住民との交流事業などを支援するため、NPO法人等が運営する事業に対して助成を行いました。

留学生への宿舍の提供・奨学金の給付

総戸数200戸の留学生宿舍を提供するとともに、北九州学術研究都市の大学院に在籍する留学生を対象に、「北九州学術研究都市奨学金」(1人年間60万円)を給付しました。

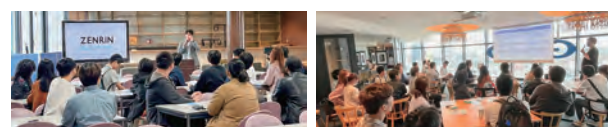
- 令和6年度受給者数:20名



インターンシップ事業

学研都市の留学生に北九州市内の企業を知ってもらうことを目的として、市内の企業3社を見学し、企業担当者と留学生で意見交換しました。

- 訪問企業 (株)ゼンリン
日本アイ・ビー・エムデジタルサービス(株)
GMOインターネットグループ(株)
- 参加者 25名(中国20名、バングラデシュ2名、韓国・インドネシア・メキシコ各1名)



海外との交流促進

各大学における海外大学との交流協定

【北九州市立大学国際環境工学部・同研究科・環境技術研究所(42機関)】

インド: インド工科大学ボンベイ校、フランス: パリ・シテ大学、中国: 大連理工大学、ベトナム: ベトナム国家大学ハノイ校
タイ: タマサート大学 他37機関

【九州工業大学大学院生命体工学研究科(9機関)】

台湾: 国立台湾大学工学院
フランス: ボルドー工科大学ENSEIRB-MATMECA大学院
トルコ: コンヤ工業大学工学自然科学部 他6機関

【早稲田大学大学院情報生産システム研究科(58機関)】

中国: 復旦大学、台湾: 国立台湾大学、韓国: ソウル大学校、タイ: チュラロンコン大学、フィリピン: アテネオ・デ・マニラ大学 他53機関
(令和7年5月現在)

海外の研究機関等との交流協定

FAISは、台湾のサイエンスパークや中国の上海交通大学および韓国の韓国科学技術院(KAIST)・釜山大学校と交流協定を締結しています。

- 平成16年 台湾 新竹サイエンスパーク、南部サイエンスパークとの交流協定締結
- 平成19年 中国 上海交通大学との交流協定締結
- 平成21年 台湾 中部サイエンスパークとの交流協定締結
- 平成27年 韓国 韓国科学技術院(KAIST)、釜山大学校との交流協定締結

地域交流イベントの開催

第20回 北九州学術研究都市ひびきの祭

地元自治会や地域の方々との協同による「ひびきの祭」を開催し、多くの方へ科学やモノづくりへの興味を喚起する場を提供しました。

- 日 程：令和6年11月10日(日)
会 場：北九州学術研究都市
内 容：【FAIS企画】
・スペースLABO川村館長のサイエンスショー
・探検!ヘルスサイエンス(産業医科大学)
・お医者さんになってみよう(産業医科大学)
・パスタブリッジを作ろう!(早稲田大学)
・九工大のロボット大集合!(九州工業大学)
・作ってみよう!建築模型(北九州市立大学)
・学研おもしろ探検クイズラリー
・ものづくり教室(トヨタ自動車九州(株)ものづくりサークル)
・プログラミング教室(株ハピコロ)
・シャボン玉スーパーチャレンジ
(石けんリサーチセンター・シャボン玉石けん(株))
・見てみよう、遊んでみよう!はたらくロボット!!
・留学生屋台村(学研ボランティアの会)
【地域団体等企画】
・ひびきの秋祭り2024
(ひびきのまちづくり協議会 屋外ステージほか)

来 場 者：5,500人



探し物ゲーム 「図書室でスカベンジャーハント」

学術研究都市内の学生や近隣の住民の方々に、もっと図書館に親しんでいただくことを目的として開催しました。

- 日 程：令和6年11月10日(日)
※ひびきの祭と同日開催
会 場：学術情報センター 1階および図書室
内 容：図書室の中を歩きながら、図書室に関する問題を解き、宝箱のカギを見つけるゲームを開催しました。

来 場 者：460人



第28回サイエンスカフェ 「お湯で動くエンジンを作ってみよう ～形状記憶合金のふしぎ～」

地域に開かれた学研都市づくりを進めるため、地域住民が科学や科学者をより身近な存在に感じ、科学技術に親しみと楽しさを感じてもらえる科学教室を開催しました。

- 日 程：令和6年8月4日(日)
会 場：産業学術推進センター
講 師：長弘基氏(北九州市立大学
国際環境工学部機械システム
工学科准教授)
内 容：小学生を対象に、形状記憶合金の解説と、形状記憶合金を使ったお湯で動くエンジンを作り、実際に動かしました。

来 場 者：33人



デジタルクリエイター教室

市内の小学校2校の5年生を対象に、学校のタブレット端末を使って自分で映像制作ができるよう、デジタルの基本スキルを楽しく学び、実践する教室を開催しました。

- 日 程：令和6年7月～10月(延べ4日間)
会 場：学術情報センター遠隔講義室1
来 場 者：343人



講演会「なるほど!空想科学 ～マンガやアニメの世界を科学する!～」

学術研究都市内の学生や近隣の住民の方々向けに、科学への興味を広げてもらうことを目的として開催しました。

- 日 程：令和6年10月27日(日)
会 場：学術情報センター 遠隔講義室1
講 師：柳田 理科雄氏
内 容：マンガやアニメの世界を科学で真剣に考察した内容の講演会を開催しました。

来 場 者：115人



広報活動

積極的な情報発信

北九州学術研究都市の取り組みや成果を、さまざまな機会や手法を活用して、国内外への情報発信を行っています。

- 令和6年度報道件数
171件
【内訳】
新聞 89件
テレビ・WEB等 70件
雑誌等 1件



国内外研究者等の受け入れ

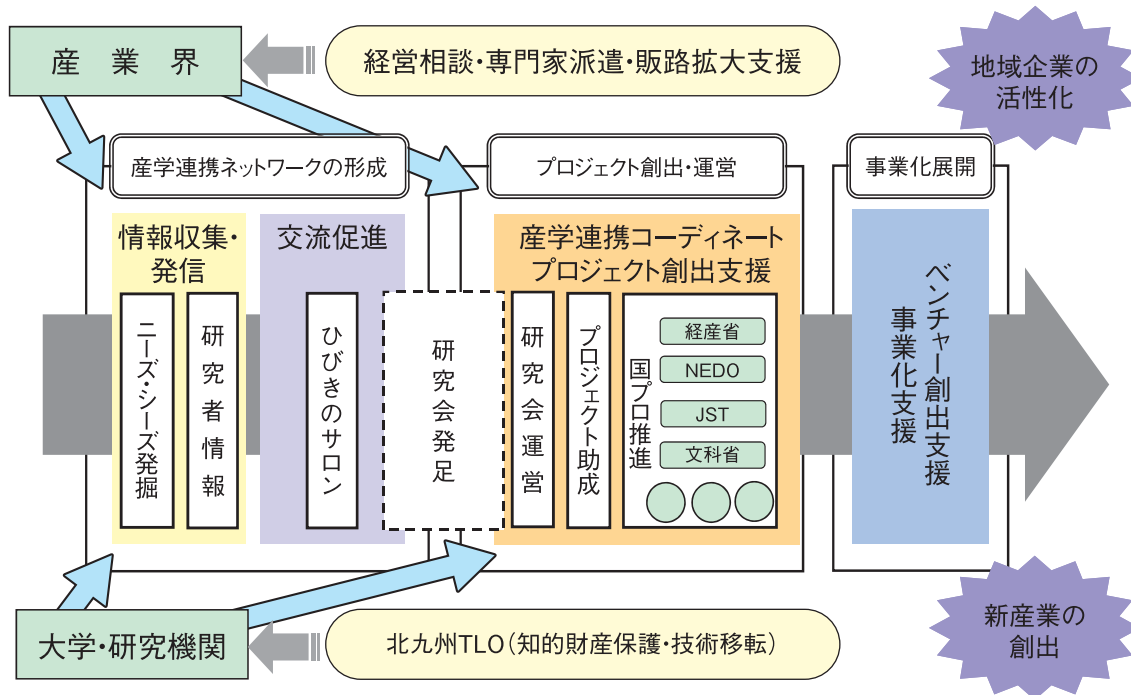
北九州学術研究都市に来訪した多数の国内外研究者等に対し、学術研究都市の設立目的や個別施設の概要、産学連携活動の取り組みや成果等を紹介しています。

- 令和6年度
視察者数
171回 1,263人



産学連携の推進

▶ 産学連携の取り組み(全体フロー)



▶ 情報収集・発信、産学交流の促進

学研都市内研究者の情報提供

- FAISのHP上に「研究者情報検索システム」を構築
—— 技術キーワードや所属、研究者名等で検索可能



研究者情報
検索システム
TOP画面

- 検索システムの情報を基に「北九州学術研究都市の
研究者情報」(リーフレット)を作成



研究者情報
(リーフレット)

毎年、市内外の
企業等に配布
【令和6年度配布数】
2,000部

メールマガジンによる情報発信

- 「産学連携センターNews」を配信(平成16年9月～)
セミナー情報や産学連携に関するトピックを随時掲載

◎配信先 約6,000件
◎配信件数 通算1,150通配信 (令和7年3月31日現在)
◎毎週月曜日配信

産学交流の場

産学交流サロン(ひびきのサロン)の開催

北九州学術研究都市から新たな産学連携の動きが次々と生まれてくることを目指し、産学官から複数の研究者等が特定の技術テーマについて自由に意見を交換する交流の場「産学交流サロン」を開催しています。平成14年度のスタートから令和6年度までに214回開催し、のべ20,331人の方が参加しています。

【令和6年度実績】

回	テーマ・講座名	発表者	参加者数
第212回 10月11日	「産業界で活躍する技術系人材に求められるものとは」 ～第11回カーロボAI連携大学院交流会～	株式会社デンソー パワーデバイス技術部 担当部長 鈴木 晴規 氏 他3名	65名
第213回 11月7日	第64回北九州医工学術者会議 「新たな研究シーズの探索に向けた医・歯・工の連携」	九州工業大学 大学院生命体工学研究科 内村 涼 氏 他9名	32名
第214回 11月8日	合同企画 第18回IPS海外連携シンポジウム (ISIPS2024)	国立清華大学(台湾) 教授 Ting-Chi WANG 氏 他	274名
第215回 11月11日	北九州市・FAISサプライヤー応援隊事業 「専門技術者育成カリキュラム」	公益財団法人神奈川産業振興センター 柳原 秀基 氏 他1名	44名
第216回 1月15日	第8回ゼオライトセミナー 第52回石油学会九州・沖縄支部講演会	産業技術総合研究所 池田 拓史 氏 他3名	36名
第217回 2月13日	人工知能(AI)を活用して社会課題の解決を目指す! ～ひびきのAI社会実装研究会の取組紹介～	早稲田大学 大学院情報生産システム研究科 講師 家入 祐也 氏 他1名	41名
合 計			492名

※法人名は、サロン開催時の名称です。

産学共同による研究会の企画運営

令和6年度研究会活動

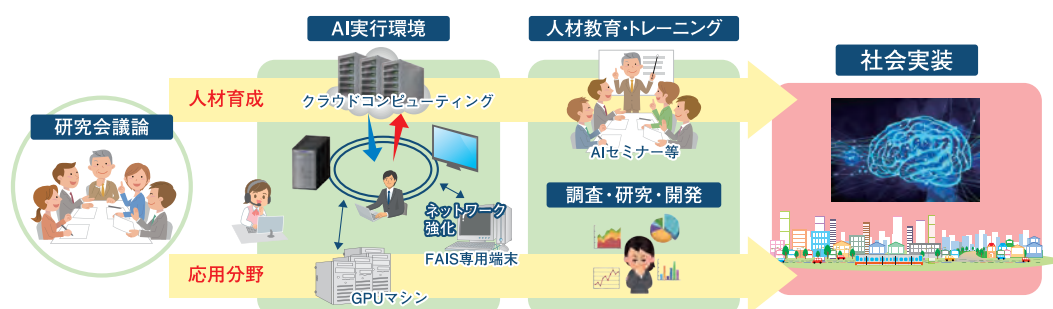
先端的で波及効果が高いと予想される技術分野に関するテーマや、事業化の可能性の高いテーマについて、産学共同による研究会を企画・運営し、研究開発につなげる活動を進めています。

研究会の活動による国等プロジェクトの採択を目指しています。

令和6年度は「ひびきのAI社会実装研究会」など5つの研究会を運営しました。

ひびきのAI社会実装研究会

企業ニーズと学研都市研究者の技術シーズのコーディネートを行い、AIを活用した電力需要の予測システムの確立・自動化など様々なテーマについて研究開発を進めています。また、人との親和性の高いシステム構築に貢献する基盤技術(スパースモデリング)や、実時間処理や低電力消費を実現するAI向けのハードウェアの研究開発を支援します。



▶ 研究開発支援

企業・大学等が実施する研究開発に対する支援

大学等の研究機関、市内企業が実施する研究開発のために補助金を交付し、新技術・新製品の開発を支援しています。

FAISの研究開発に対する支援制度(令和6年度)

◎研究開発プロジェクト支援

名 称	概 要	対象者	補助額(補助率)	補助期間
シーズ創出・ 実用化検証事業	産業振興の促進に資する分野に関し、実用化を目指すシーズを見出し、その可能性を検証するための研究開発に対して補助金を交付	市内大学等 (1)若手・チャレンジ枠 (2)一般枠	200万円以内(1/1)	単年度
実用化 研究開発事業	産業振興の促進に資する分野において、技術の高度化・製品の実用化並びに新産業の創出を目指す研究開発に対して補助金を交付	市内企業等	中小企業 500万円以内(2/3) その他 500万円以内(1/2)	単年度
未来産業 イノベーション 創出事業	半導体、自動車等今後成長が見込まれる重点分野において、実用化が見込まれる新技術・新製品の研究開発に対して補助金を交付	(1)市内大学等(単独) (2)市内大学等(企業等との連携) (3)市内企業(大学等との連携) (4)市外企業(市内大学等との連携)	単独300万円以内 連携1,000万円以内 (大学等1/1、中小企業2/3、 中小企業以外1/2)	単年度
衛星データ 利活用実証・ 新技術開発事業 宇宙関連機器 新技術開発事業	今後成長が見込まれる宇宙関連分野の衛星データ(観測・測定・通信の各データ)の利活用モデルの実証や新たな技術開発に対して補助金を交付 ロケット、人工衛星、地上施設等の宇宙に関する機器や、その材料又はこれらの機器の制御・管制にかかるソフトウェア等に関する新技術開発に対して補助金を交付	(1)市内大学等(単独) (2)市内大学等 (市内大学等や企業等との連携) (3)市内企業(単独) (4)市外企業 (市内大学等や企業等との連携)	大学等単独、大学等連携、 企業等単独: 200万円 大学等と企業等の連携、 企業等の連携: 500万円	単年度

令和6年度採択実績

【シーズ創出・実用性検証事業】15件

採択テーマ名		申請大学等
若手・ チャレンジ 枠	CO ₂ 資源化のための亜鉛ガス拡散電極の開発	九州工業大学
	環境に優しいプロセスによるナノポーラスGeの合成と蓄電素子への応用	九州工業大学
	省計算資源実装が求められるエッジAIのための仮想マルチリードアウトレザバー計算モデルの開発	九州工業大学
一 般 枠	ビッグデータ新解析:言語モデルと展開図可視化の対話による知識発見システム	九州工業大学
	持続可能な農業システムの構築を目指した新規バイオスティミュラント剤の開発	九州工業大学
	有害金属の除去やレア金属の回収が可能な金属配位子を有する含硫黄ポリマーの開発	九州工業大学
	がんの早期診断をめざした電気学的cell-free DNAの検出	九州工業大学
	3Dデジタル技術を基盤とする自動化手法を用いた高効率・高再現性で安全な体幹装具の設計および構造解析のワークフローの確立	九州工業大学
	泥炭森林火災の消火技術を核としたカーボנקレジット市場への参画に関する調査	北九州市立大学
	テラーメイド可能な高精度脳血管腔モデルの開発と市場普及に向けた実用性検証	産業医科大学
	新規な固体電解質と負極材料の開発及び次世代全固体ナトリウムイオン電池への応用	九州工業大学
	3Dプリンティング技術を可能とする改質木質バイオマス燃焼灰を使用したカーボンニュートラルコンクリートの開発	北九州市立大学
	ロボットの動作をコピーするシステムの開発	北九州市立大学
	自然地形を凌駕する多肢型エクストリームクライミングロボットの開発	九州工業大学
	省エネ純水製造を目指した孔拡散分離膜の開発	北九州高専

【実用化研究開発事業】3件

採 択 テー マ 名	申 請 企 業 等
細胞用ナノ注射器を用いた安全性の高い高効率ゲノム編集技術の開発	ハインツテック(株)
自動運転バス事業サービス向上のための論理知識型AI活用によりバス熟練運転手の規範的判断を組み込んだ安全・安心・社会信頼を確保する高付加価値地図製品の開発	アイサンテクノロジー(株)
低炭素フェライト系ステンレス鋳造品の組織制御技術の開発検証、及び自動車排気系部品への実用化	戸畑鉄工(株)

【未来産業イノベーション創出事業】2件

採 択 テー マ 名	申 請 企 業 等
動植物細胞共生培養によるエネルギー循環型食糧生産法の確立	北九州市立大学
地域課題である“竹”の循環利用に向けた次世代難燃性素材の創製	九州工業大学

【衛星データ利活用実証・新技術開発事業、宇宙関連機器新技術開発事業】5件

採 択 テー マ 名	申 請 企 業 等
超小型衛星の安価で高精度な姿勢決定実現に向けた宇宙用超小型デジタルフラックスゲート磁気センサの開発【機器】【大規模】	九州工業大学
メタマテリアル技術を応用したCubeSat向け超小型高性能アンテナの開発の初期検討【機器】【大規模】	九州工業大学
高精度・高耐性衛星観測のためのAI駆動異常検知技術の確立【データ】【大規模】	北九州市立大学
宇宙関連機器搭載ソフトウェアとサイバー・フィジカルシステム・シミュレーションと耐宇宙線理論回路の要素技術開発【機器】【大規模】	北九州市立大学
A-SOFTハイブリッドロケット技術の研究開発 一酸素の伝熱現象の解明および熱伝達式の確立一【機器】【大規模】	九州工業大学

※【機器】：宇宙関連機器、【データ】：衛星データ、【大規模】：大規模枠

◎旭興産グループ研究支援プログラム

名 称	概 要	対 象 者	補 助 額 (補 助 率)	助 成 期 間
若手研究者 ステップアップ支援	旭興産グループの支援を得て、新しい時代に予見される課題の解決につながるテクノロジーの研究(斬新、独創的かつ挑戦的で将来の発展が見込まれるものに限り)に対し補助金を交付	北九州市内に設置された大学等に所属する研究者で、かつ、 ア 39歳以下 イ 博士学位取得後 8年未満のいずれかを満たす者	Aタイプ Bタイプ 初年度 500万円 200万円 2年度 300万円 200万円 3年度 200万円 100万円 計 1,000万円 500万円 ※研究開発予算に応じて、 A・Bタイプを選択 (1/1)	3年以内

令和6年度採択実績

【若手研究者ステップアップ支援】4件

採 択 テー マ 名	申 請 大 学 等
レアアース系超電導線材のリサイクル技術開発	九州工業大学
患部の細胞機能若返りを実現する骨模倣人工骨補填材の開発	北九州市立大学
大学運動部活動における早期離脱予防のためのメンタルトレーニングプログラムの開発	九州共立大学
サービスロボットをターゲットにした知的処理割り振りコントローラの開発	北九州高専

FAIS助成制度の主な成果事例(令和4年度採択テーマより)

【研究テーマ】北九州産の希少な完全非加熱ミルクセラミド原液の量産化開発

【申請企業】株式会社FILTOM

市内の牧場である濱崎デイリーファームやアレルギーテスト法開発を担当した北九州市立大学などと連携し、牛乳を使用した化粧品用新素材「生ミルクセラミド」の開発に世界で初めて成功しました。また「生ミルクセラミド」を配合した化粧品も同時に開発し、R5年4月から販売を開始しています。



生ミルクセラミド(左)と
一般的な加熱ミルクセラミド(右)



濱崎デイリーファーム



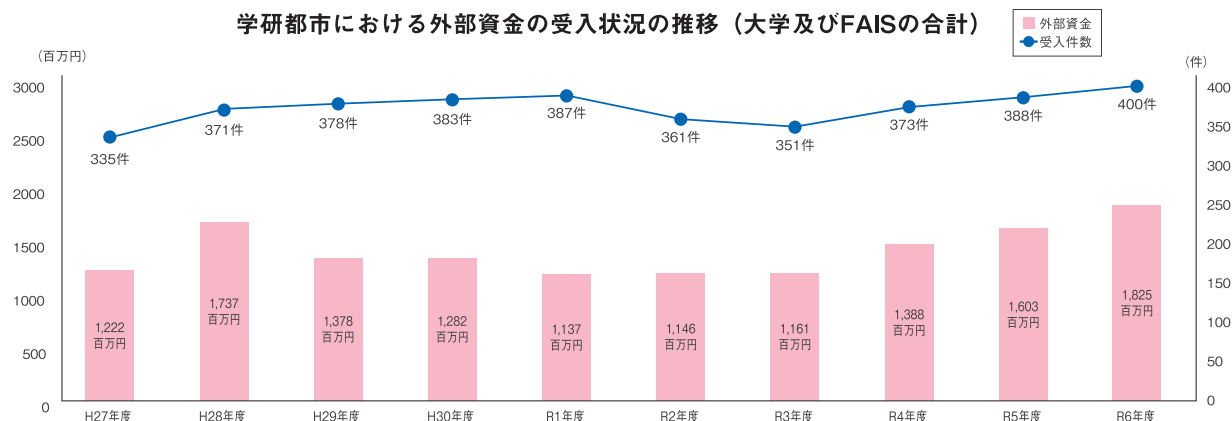
生ミルクセラミド
m9シリーズ(化粧品)

国等の資金を活用した研究開発プロジェクトの推進

「成長型中小企業等研究開発支援事業（経済産業省）」等、国等の資金を活用した産学連携の研究開発プロジェクトを積極的に実施しています。

令和6年度は、各大学における受託研究等と合わせて400件のプロジェクトに取り組みました。

外部資金の積極的な獲得



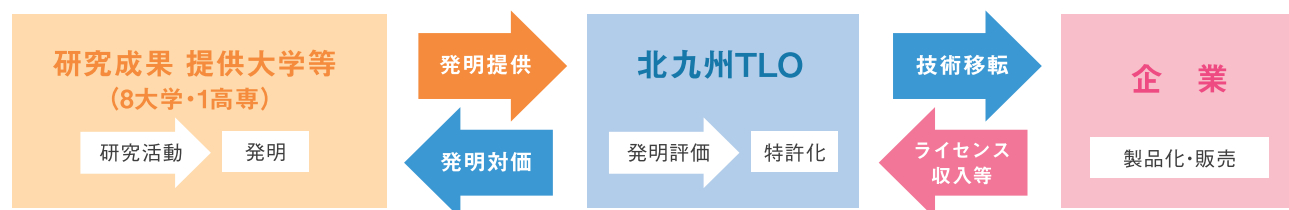
近年の主な研究開発プロジェクト

経済産業省	
港湾コンテナ基地における蔵置作業効率を最大化する蔵置アルゴリズムのシステム開発	R4年度～R5年度
【成長型中小企業等研究開発支援事業】	1億889万円
次世代太陽光発電向け円筒型太陽電池システムの研究開発	R1年度～R3年度
【戦略的基盤技術高度化支援事業】	1億2,264万円
三次元技術を用いた地域社会への貢献を目的とした高度測量技術に関する研究開発	R1年度～R3年度
【戦略的基盤技術高度化支援事業】	1億2,580万円
5G対応高周波用材料（ガラス・セラミック・テフロン等）への分子接合とメッキ技術を融合した高周波対応次世代メッキ技術の開発	R1年度～R2年度
【戦略的基盤技術高度化支援事業】	1億154万円
内閣府	
ハイブリッド自動車向けSiC耐熱モジュール実装技術の研究開発	H26年度～H30年度
【戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）】	8億4,000万円
JST	
スマート社会創造に向けたソーシャルイノベーション研究開発・実証拠点	H27年度～H28年度
【世界に誇る地域発研究開発・実証拠点（リサーチコンプレックス）推進プログラム】	3億3,500円
文部科学省	
IoTによるアクティブシニア活躍都市基盤開発事業	H28年度～R2年度
【地域イノベーション・エコシステム形成プログラム】	2,150万円
微細加工プラットフォーム	H24年度～R3年度
【ナノテクノロジープラットフォーム事業】	1億円

▶ 研究成果の特許化と技術移転 《北九州TLOの運営》

FAISは「北九州TLO (Technology Licensing Organization)」を運営し、地域の大学等の研究者が生み出した研究成果(発明)を特許化し、それらを民間企業へライセンス契約等によって技術移転しています。この技術移転により企業から得られたライセンス収入等の大半を研究者や大学に還元し、新たな研究開発につなげています。北九州TLOの保有技術シーズは、ホームページでも紹介しています。

北九州TLOの仕組み・特許出願等



研究成果提供大学等

九州工業大学、産業医科大学、北九州市立大学、九州歯科大学、西日本工業大学、九州共立大学、中村学園大学、北九州工業高等専門学校、近畿大学

これまでに事業化・製品化された事例(一部掲載)

「発明の名称」(事業化・製品化の概要)	「発明者・研究代表者」
「界面活性剤系組成物」、「水添加型の消火剤」 (環境にやさしい世界初の石けん系消火剤)	北九州市立大学 上江洲一也教授、河野智謙教授 他
「解剖台」(医学実習用ホルムアルデヒドの直接暴露防止)	産業医科大学 大和 浩教授、菊田彰夫教授 他
「マイクロ波を用いた減圧乾燥方法及びその装置」 (環境にやさしいマイクロ波を用いた減圧乾燥方法)	九州工業大学 鶴田隆治教授 他
「曳糸性測定装置」 (あらゆる流動物質のネバネバ度を測るシンプルなメーター)	九州歯科大学 西原達次教授、柿木保明教授 他
「アスペルギルス属菌及びリゾーブス属菌の混合培養系を用いた アミラーゼの生産方法」 (高い酵素活性や豊富な酸を特性とした新しい麹菌)	北九州市立大学 森田洋教授 他

環境にやさしい世界初の
石けん系消火剤



製品化企業
シャボン玉石けん(株)

環境にやさしい
マイクロ波を用いた
減圧乾燥方法



製品化企業
西光エンジニアリング(株)

あらゆる流動物質の
ネバネバ度を測る
シンプルなメーター



製品化企業
(株)石川鉄工所

▶ 学研都市を中心としたGXの推進 《北九州GX推進コンソーシアムの運営》

2050年カーボンニュートラルに向けたグリーントランスフォーメーション（GX）の動きは世界的に加速しており、わが国でも今後10年間で150兆円を超える官民GX投資が見込まれています。

そこで、FAISは、2023年12月12日に、カーボンニュートラルを成長の機会と捉え、官民GX投資を呼び込み、GXをより一層推進していくため、北九州市と共同で、産官学金の一体的取組みを進める「北九州GX推進コンソーシアム」を創設しました。

この「北九州GX推進コンソーシアム」の枠組みを活用して、北九州学術研究都市等での研究開発など、北九州のポテンシャルを活かした産業集積や、地域企業の成長、新産業を創出に取り組んでいます。



役職等	名 称
会長	北九州市長
副会長	北九州商工会議所会頭、北九州産業学術推進機構理事長
産	北九州商工会議所、北九州中小企業団体連合会 GXの知見を持つ企業、GXを推進する企業
学	北九州市立大学、九州工業大学、早稲田大学、福岡大学 北九州工業高等専門学校、地球環境戦略研究機関 (IGES)
官	経済産業省、環境省、福岡県、北九州市 北九州産業学術推進機構 (FAIS) 【事務局】北九州市、FAIS
金	金融機関

北九州GX推進コンソーシアムの取り組み

コンソーシアム設立後、先端テーマ別研究部会の創設、GX推進補助金の創設、ワンストップ相談窓口の開設や専用ホームページ立上げによる広報、会員企業の意識啓発・醸成、ビジネススクールの開講等に取り組んでいます。

また、2024年11月26日に、コンソーシアム設立1周年を記念して、「GXと金融」をテーマに総会（北九州GX DAY）を開催し、GX投資の鍵を握る「金融支援」の重要性を発信しました。



サステナブルファイナンスや金融・投資に関する第一線の方々を含む総勢29名が
登壇し、豪華なプログラムを展開



「北九州GX DAY」

日時：2024年11月26日（火）
9:30～16:00

場所：リーガロイヤルホテル小倉
（オンライン配信の他、
東京会場でも配信）

参加者数：354名

エネルギーイノベーション総合展に出展しました

2025年1月29日（水）から31日（金）まで、東京ビッグサイトで開催された「エネルギーイノベーション総合展」（主催：一般社団法人省エネルギーセンター等）の「第19回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム」に出展しました。同展示会は、国内最大級の「エネルギーイノベーション総合展」として、カーボンニュートラルや再生可能エネルギーや省エネルギー等に関する4つの展示会が同時開催されました。

FAISからは、サステナブルな未来に向けて共創する北九州GX推進コンソーシアムの活動や、北九州学術研究都市を中心に進められている最先端のGX関連研究のほか、コンソーシアムメンバーである、小倉セメント製品工業株式会社及び株式会社ビートルマネジメントの2社が共同出展し、“世界をけん引するGXシティ”を目指す北九州市の取り組みを紹介しました。



▶ 技術拠点化の推進

自動車技術拠点化の推進

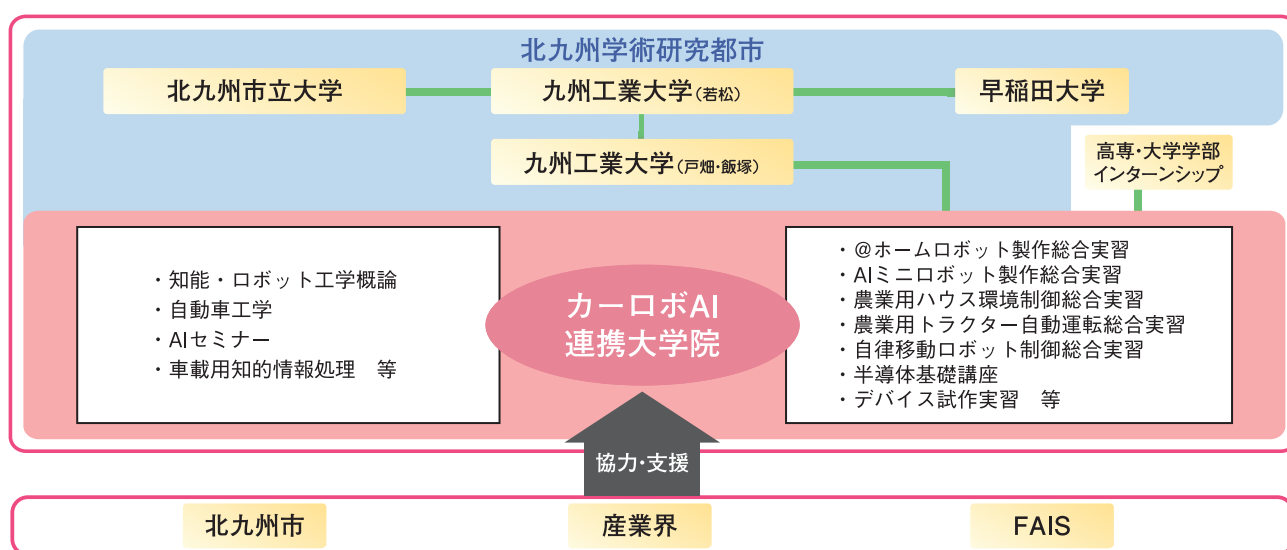
北九州地域における次世代自動車技術の拠点化を目指し、北九州学術研究都市における高度人材の育成を支援するとともに、地域の関連企業の電動化等に向けた環境整備や技術力の底上げ、産学連携による先端的研究開発などを支援しています。

人材育成の推進

カーロボAI連携大学院

高度化・知能化が進む自動車、ロボット、人工知能(AI)の各分野で、次世代を担うリーダーとしての高度専門人材の育成を目的に、学研都市の3大学が運営する連携大学院の教育プログラムを支援(民間講師の紹介等)しています。

また、連携大学院生の企業研究や職業観醸成等のため、日本を代表する自動車・ロボット等関連企業の人事担当者・技術者と少人数で意見交換する機会(オフサイト・ミーティング)の提供等も行っています。



研究開発の推進

「パーツネット北九州」や「北九州自動運転推進ネットワーク」、「東田MaaSプロジェクト」の事務局運営を通じて、セミナーや勉強会、視察会の開催、実証事業等を実施し、産学連携、会員企業同士の連携を強化することにより、部品の軽量化等の脱炭素社会の実現に資する環境技術や自動運転関連技術など、学研都市のシーズを活かした特色のある自動車関連技術の研究開発を支援します。

次世代自動車に関する研究開発(北九州空港～JR朽網駅 自動運転バス実証事業)

自動運転分野への新規企業等の参画を図り、研究機関と連携することで、新ビジネスの創出を図るとともに、自動運転の社会実装の実現を目的として、国交省補助金(自動運転実証調査事業)を活用し、北九州自動運転推進ネットワークの会員を中心に、自動運転バスの実証事業を実施。

【令和6年度実証概要】

運行ルート …… 北九州空港～JR朽網駅
実証期間 …… 11月28日～12月18日(15日間)
自動運転レベル …… レベル2(必要に応じて運転士による手動介入)
試乗者 …… 1,005人(5往復/1日)
参加団体 …… 西鉄グループ、A-Drive、アイサンテクノロジー、
いすゞ自動車、YE DIGITAL、九州工業大学、
北九州市、FAIS 等

産学連携の取組み

九州工業大学、アイサンテクノロジー、西鉄グループが連携し、熟練バス運転士の目配りなど危険を先読みするノウハウを人工知能(AI)に学ばせて自動運転の安全性を高める革新的危険情報検知システムを共同研究。



地場企業支援

CASEといった言葉に代表される、100年に一度の大変革の真ただ中にいる自動車産業界において、企業のCASE対応、生産性向上、ものづくり力の向上、企業の人材育成の拡充などを目指して、地場企業を支援しています。

北九州市・FAISサプライヤー応援隊事業

①人材育成事業

企業の階層別に必要な能力を整理し、それぞれに必要なスキル・技能を学べるようなカリキュラムを編成しています。最新の自動車部品に搭載されている技術や開発動向、自社内で体系的な人材育成体制を整備できない中小サプライヤーの技術者向けの内容も意識して、取り組んでいます。

若手・中堅技術者 育成カリキュラム	リーダー・幹部 育成カリキュラム	専門技術者 育成カリキュラム	標準化推進 カリキュラム
1.日常管理と方針管理 2.2S・5Sと安全活動 3.職場内「対話力」の強化 4.QCの基礎 5.5S・QC実践活動 など	1.管理・監督者の役割 2.方針管理 3.人材育成 4.原価管理・生産管理 5.生産性向上 6.グループ討議 など	現役技術者が最新の自動車部品 モジュールに搭載された部品の 技術動向・構成等を解説。 1.最新の日産EV/e-POWER システムの技術解説と部品構成 2.構成部品の紹介 など	1.日常業務における作業 標準化の重要性 2.作業要領書作成演習 3.作業要領書レベルアップ 演習(作業FMEA) 4.未然防止型QCストーリー



②TQM出前講義事業

CASE等新規事業に取り組む企業の体制強化等を図るため、経営者・管理者を対象に、総合的品質管理活動(TQM)の出前講義を実施。

③現場派遣事業

EV化等の自動車産業を取り巻く環境の変化に対応するため、自動車メーカーOB等のアドバイザーを企業に派遣し、現場改善や技術導入の実践を通してEV化に向けた環境整備や技術の磨き上げなど、各企業の状況に応じた伴走支援を実施。

クルマの未来館 ひびきの

北九州地域の自動車関連企業等を対象に、次世代自動車を構成する部品への理解を深め、今後の新規参入等の参考にしていただくため、日産サクラ(電気自動車)を1台丸ごと分解展示しています。

自動車産業支援センターのコーディネータ(自動車メーカー出身者)が、実物を前に部品や技術の解説、技術相談、マッチング支援、業界の最新動向説明などを行っています。

展示コーナー



電動化固有ユニット・機能部品類関係



内外装ボデー関係

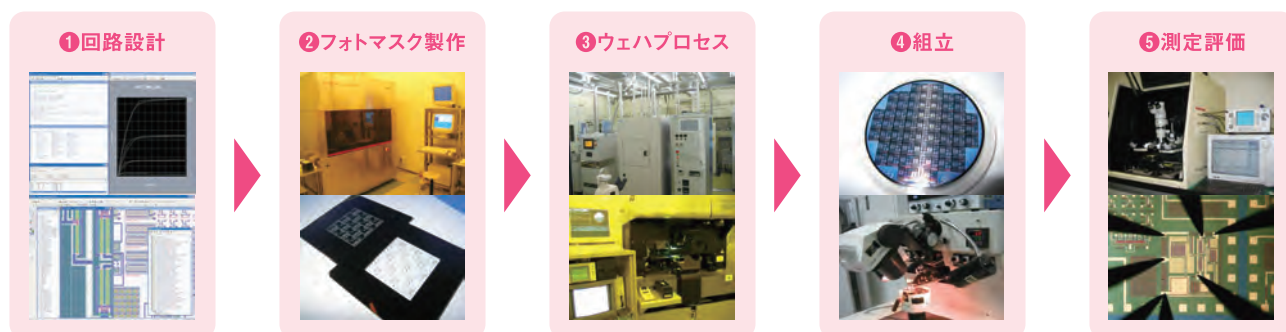


パーツネット北九州会員企業
電動化関連開発部品

半導体・研究開発技術拠点化の推進

半導体産業関連企業支援

半導体設計ツールやIC・MEMS微細加工装置、評価・解析機器を整備し、半導体・エレクトロニクス関連企業に対して、設計から製造、評価・解析までの一貫した設備環境を提供し、北九州市における半導体産業の振興に努めています。



IC・MEMS微細加工環境の提供

共同研究開発センターでは、IC・MEMSなどを作製する微細加工設備を提供しており、大学・研究機関、企業などの基礎研究からプロトタイプ試作まで幅広く支援しています。

半導体評価・解析環境の提供

信号発生器や波形分析器等の評価機器、X線透視装置やマイクロスコップ等の解析機器及び環境評価装置など、充実した評価・解析環境を提供しています。



X線透視観察



半導体特性評価



サーモストリーム



デジタル入出力デバイス
計測システム

北九州半導体ネットワークの活動

北九州市域の半導体関連産業の振興のため、国、県と連携しながら、参加企業の取引拡大や人材育成・確保等につながる取組を進め、本市域の半導体関連産業の活性化を図るため、令和4年7月に設置しました。①半導体の人材育成・人材確保、②販路の開拓や企業間交流の促進、③技術・研究開発を中心に取組を推進しています。

半導体技術者育成講座(ひびきの半導体アカデミー)の開催

半導体技術者育成講座「ひびきの半導体アカデミー」を見直し、市域企業や高専等ニーズを反映した、半導体のものづくりの全体像が分かる基礎教育を提供しています。

- ・半導体活用基礎講座(オンデマンド、高専専用)
- ・パワーシステムマイコン講座
- ・半導体技術者検定エレクトロニクス3級対策セミナーなど

●令和6年度:講座数 5講座、参加者数 85名

※半導体活用基礎講座(オンデマンド)受講者に対し、クリーンルーム体験講座を実施



半導体活用基礎講座



クリーンルーム体験講座

半導体テスト分野の研究開発の促進

これからの技術革新で重要な役割を持つ半導体テスト分野の産学官連携の交流ネットワークとして「ひびきのテスト研究会」を設立し、技術・研究開発の促進に努めています。

●令和6年度 2回開催(21社、7大学研究室、1研究機関が参加)

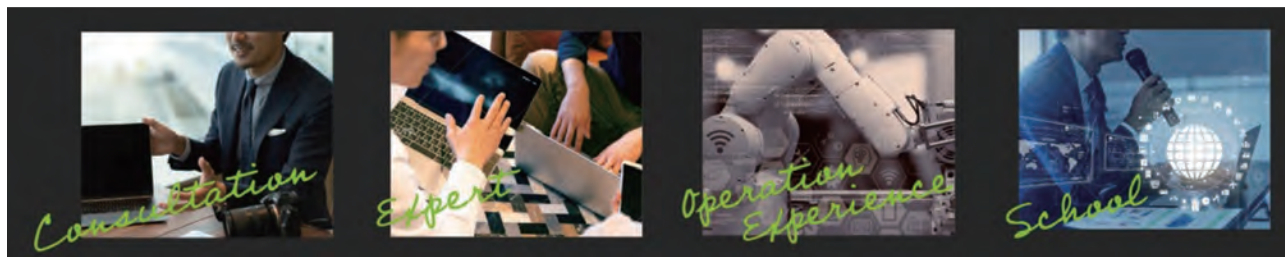
研究開発情報の提供

北九州学術研究都市に立地する3大学(北九州市立大学、九州工業大学、早稲田大学)の半導体に関わる研究者33名の研究内容をまとめた研究シーズ集を作成し、企業と大学の共同研究につながる情報を提供しています。



▶ 中小企業へのロボット導入支援、DX推進

北九州市ロボット・DX推進センター



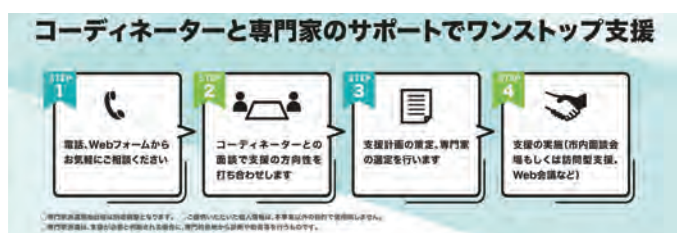
北九州市ロボット・DX推進センターは、地域の中小企業のニーズに応え、ロボット導入やDX(IoTの導入、業務のデジタル化等)推進をワンストップで支援するために、2022年4月から活動を開始しました。

当センターでは 導入支援 操作体験 人材育成 等の取組みを通して、ロボット導入やDX推進に意欲のある地域企業を総合的・一元的に伴走支援しています。

また、集い・つながりの場として、地域企業と高等教育機関、金融機関等との連携を促進し、産学官金のハブとしての機能を果たしています。

ワンストップ相談窓口の運営

ワンストップ相談窓口では、ロボット導入や、デジタル技術を活用したDXの推進に関する相談を受け付け、コーディネーターによる支援計画の作成や専門家による伴走支援を行います。



【ワンストップ相談窓口連絡先】

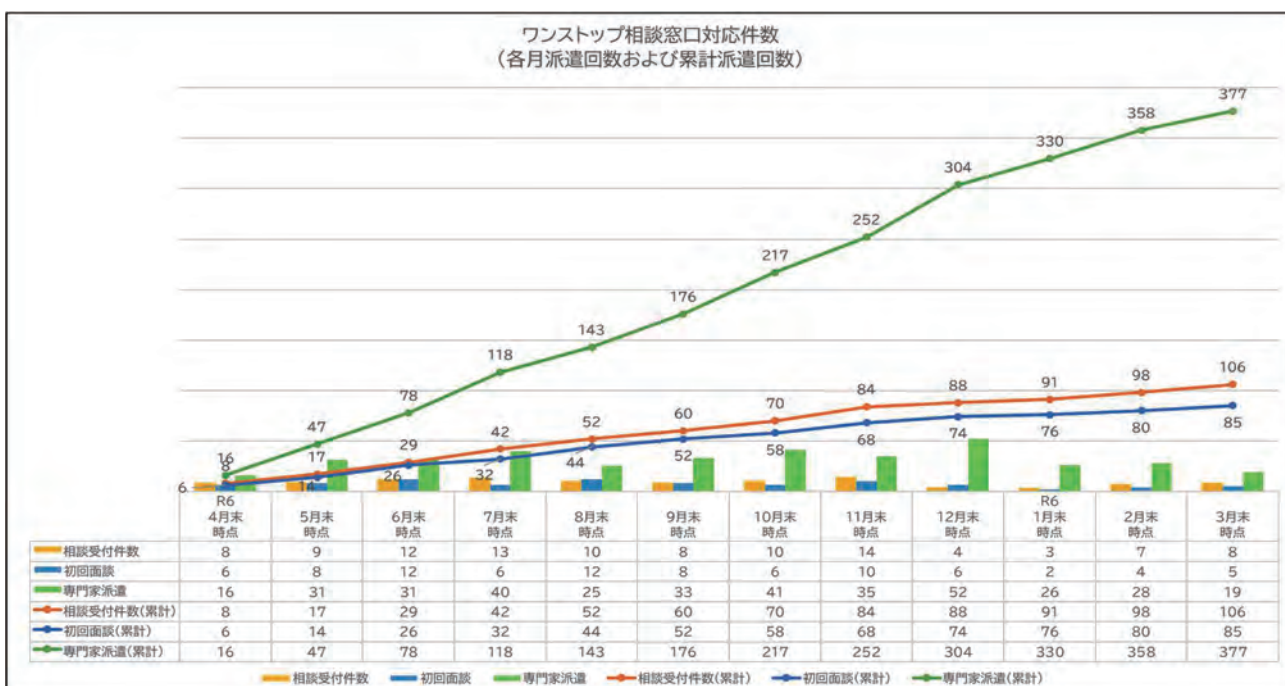
<https://ktq-robodx.jp/>

TEL: 093-695-3090

(受付時間: 平日9時～17時)



ワンストップ窓口 専門家・コーディネーター派遣実績件数



ロボット導入支援等に関する取り組み

ロボット技術開発拠点化の推進・中小企業へのロボット導入支援

ロボット研究開発支援

- ロボット関連プロジェクト支援
- ロボット産業マッチングフェアの開催
- 各種技術セミナーの開催・情報発信

※北九州ロボット
フォーラムの事務局
として新ロボット
開発を推進



開発支援したロボットの成果報告会

産業用ロボット導入支援・人材育成

- ロボット導入による生産性向上支援
- ものづくり企業への現場派遣
- 各種補助金の申請支援
- システムインテグレータとの連携推進
- ロボット導入につながる情報提供
- 生産性向上スクールの開催、工業高校生、大学生のインターンシップ受入
- 学生向け職業体験イベントへの出展



ロボットのデモンストレーション展示

※ロボット・DX推進センターを拠点として、ロボット導入に関わる取り組みを実施

【令和6年度の取り組み】

ロボット研究開発支援

ー地域の産学官連携の仕組みづくりー ロボット産業マッチングフェア・セミナー開催

市内のロボット関連企業や大学等19団体が出展する展示会を「課題解決エキスポ2024」と同時開催。



ー学生向け競技会への後援ー 第11回トマトロボット競技会 ロボメカデザインコンペ2024

地域の教育機関が中心となり開催している学生向け各種競技会に対する後援を通じて、ロボット研究開発への活動支援を行った。



産業用ロボット導入支援・人材育成

ロボット・DX推進センターを拠点として、市内企業の生産性向上・ものづくり力強化を目的にロボット導入を総合的に支援します。

- ロボット導入に関する企業訪問・技術相談
- 人材育成(ロボット技術者およびシステムインテグレータ)
- ロボット導入に関する情報発信

令和6年度の活動内容

- ロボット導入支援
 - 産業用ロボット等導入支援補助金 4社
 - 産業用ロボット等導入前検証補助金 3社
- 現場派遣・技術相談
 - 市内企業：163件、市外企業：7件
- 生産性向上スクール
 - ロボット編5講座、のべ31名の参加者
- 提携セミナー
 - ロボット編5講座、のべ59名の参加者
- システムインテグレータ・ネットワーク推進
- インターンシップ受入
 - 工業高校：2校、大学・大学院：2校



①ロボット導入事例



②ロボット導入事例



③生産性向上スクール



④工業高校インターンシップ

内閣府「地方大学・地域産業創生交付金」事業

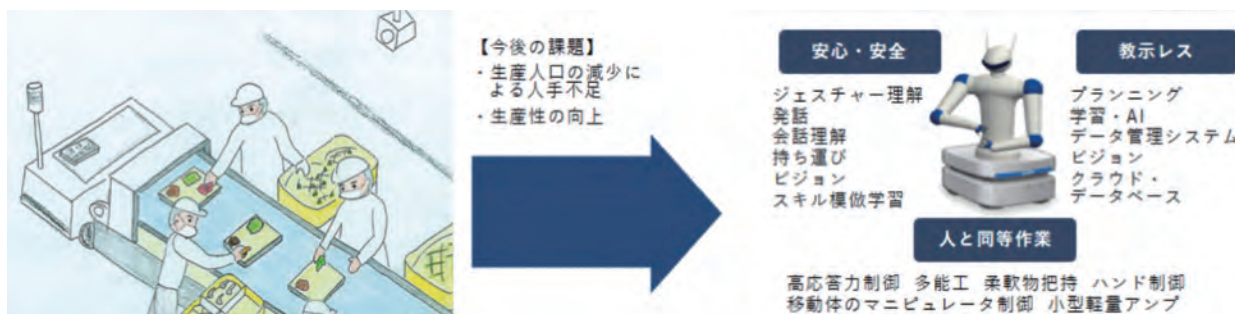
【計画名】革新的ロボットテクノロジーを活用したものづくり企業の生産性革命実現プロジェクト

【参画機関】北九州市、北九州産業学術推進機構、九州工業大学、(株)安川電機 他

【事業期間】平成30年～令和9年(うち国補助期間5年間)

1. 革新的ロボットテクノロジーによる「自律作業ロボット」の研究開発【九州工業大学、(株)安川電機】

- 自律作業ロボットの研究開発事業



- 国内外からのトップレベル人材招聘事業
新しい産業用ロボットの研究開発に向けて、国内外からトップレベルの研究者・専門家を招聘します
- 中小ものづくり企業の生産性向上のための研究開発支援事業
- 安川テクノロジーセンタ整備事業(交付金事業対象外)



比留川博久教授



ロイフ・ファイファー教授



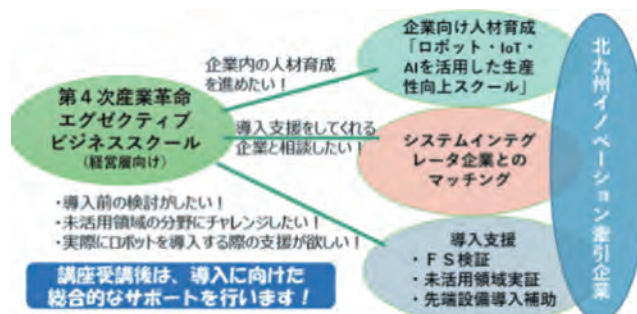
スティーブ・カズンズ教授



山田陽滋教授

2. 先端技術の社会実装の推進(現場主義・実践主義)

- 生産性向上支援事業
 - 産業用ロボット導入支援
FS事業、導入支援補助金
 - 第4次産業革命 エグゼクティブビジネススクール
 - ロボット・IoTを活用した生産性向上スクール
- 人材育成・若者定着事業
 - ロボット導入等の課題解決型インターンシップ事業
 - 有給インターンシップの実施
 - 工業高校・高専・ポリテク等でのロボット教育



北九州市における導入支援策

- 北九州市 ロボット・DX推進センターの運営

中小ものづくり企業への産業用ロボット導入等を推進するため、「北九州市 ロボット・DX推進センター」を北九州学術研究都市に開設し、運営しています

3. キラリと光る地方大学づくり【九州工業大学】

- 連携大学院(ロボティクスシンセシス&マネジメントコースの運営)
- AIシーズニーズマッチングシステムの運用
- 有給インターンシップの実施



DX推進に関する取り組み

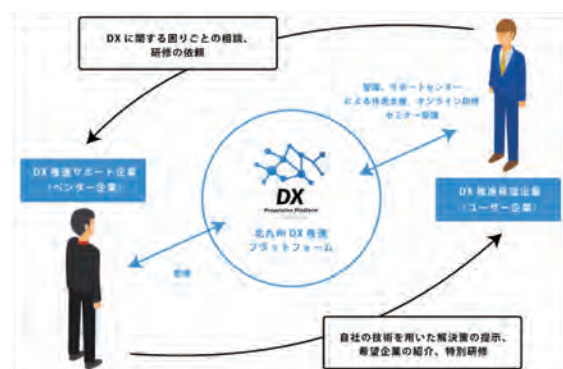
DX推進補助金を実施

◆3つの補助金枠を設け、市内中小企業のDX推進を取り組み状況に応じて支援を実施

補助金の種類	計画策定枠	生産性向上・付加価値創出枠	事業変革枠
概要	デジタル技術の活用による成長に向けた中期経営計画等の事業計画策定にあたり必要となる費用を対象とする。	中期経営計画等に基づき、個別の業務や製造プロセスのデジタル化によって、業務の効率化による生産性の向上や付加価値を創出する取り組みを対象とする。	中期経営計画等に基づき、デジタル技術を活用して事業変革を目指す取り組みを対象とする。
対象企業	市内に事業所を有する中小企業		
交付上限	最大200万円	最大200万円	最大500万円
補助率	対象経費の2/3以内	対象経費の2/3以内	対象経費の2/3以内
支援した件数 (令和6年度)	6件	15件	3件

北九州市DX推進プラットフォーム

DXを推進したい北九州市内の企業と、DXの推進をサポートする企業をつなぐために、令和2年度に北九州市が創設したプラットフォーム。令和4年度より北九州市ロボット・DX推進センターで運営管理。



ー DXを推進したい企業とサポートする企業をつなぐー



専用Webサイト

北九州市DX推進フェアの開催

北九州市産業経済局未来産業推進課及び公益財団法人北九州観光コンベンション協会との共催により、「課題解決Expo2024」内で西日本DX推進フェアを開催し、DXトークセッション・北九州市DX推進フォーラムを実施しました。

日 程：令和6年7月3日(水)～7月5日(金)
場 所：西日本総合展示場
出 展：56社
来 場：17,224人(課題解決Expo2024全体)
内 容：■DXトークセッション「令和6年度DX推進補助金活用事業紹介」
講師／登壇者：平川産業(株)、ワイルド化成(株)、(有)ゼムケンサービス

■北九州市DX推進フォーラム

講師／登壇者：(株)INDUSTRIAL-X、(株)西原商事ホールディング、松本工業(株)、(株)戸畑ターレット工作所、FAIS、北九州市立大学

■DXトークセッション

●業界別デジタル化・DX事例紹介<建設業>

講師／登壇者：ハゼモト建設(株)、日本ソフト技研(株)、(株)タイズ

●アイドルと学ぶ「DXって何?」

講師／登壇者：アイドルグループ「LinQ」高木悠未さん、海月らなさん

●業界別デジタル化・DX事例紹介<製造業>

講師／登壇者：(株)アイム製作所、(株)ハピクロ、(株)戸畑ターレット工作所

●業界別デジタル化・DX事例紹介<不動産業>

講師／登壇者：(株)不動産中央情報センター、(株)タイズ



北九州システムインテグレータネットワークの取り組み

北九州システムインテグレータネットワークとはロボットやデジタル技術等を取り扱うシステムインテグレータ企業19社で構成。

「北九州地域における中小企業の生産性を向上させること」「北九州地域をシステムインテグレータの拠点とすること」を主目的として、北九州地域の産業振興を図ることを目指しています。



北九州システムインテグレータネットワークの活動を強化し、定例会議の開催やロボット産業マッチングフェアへの共同出展、および地元企業へ自動化に向けた提案などの活動を行いました。

令和6年度(2024)主な活動	
令和6年7月3日～5日	西日本総合展示場で開催された「ロボット産業マッチングフェア2024」にて共同出展
令和6年9月12日	第1回協議会(総会)開催(ハイブリッド形式)
令和6年11月22日	鹿児島市で開催された食品・飲料製造業向けロボット導入セミナーにて3社登壇
令和6年11月29日	会員企業の三島光産(株)エンジニアリング事業部の工場見学と企業紹介
令和7年3月4日	第2回ネットワーク協議会開催(ハイブリッド形式)



エグゼクティブビジネススクールの実施

第4次産業革命への対応力を経営トップ自ら検討できる日本で唯一のビジネススクール

DX、第4次産業革命が進む中で、デジタル技術を活用し、成長を目指す中小ものづくり企業の経営層向けビジネススクールです。

デジタル技術による、生産性向上、業務革新、事業成長、技術継承、人材育成、国際基準への準拠等の様な利点について理解を深め、自社の進むべき将来像を描けるようになるための講座です。これまでの受講者からは非常に高い評価を得ています。

スクールのカリキュラム(令和6年度)

No.	日程	内容	講師
特別講座	令和6年8月30日～31日	DX・第4次産業革命の機会と脅威(ものづくり編)	(株)野村総合研究所 藤野 直明 氏、梶野 真弘 氏
	令和6年9月13日～14日	DX・第4次産業革命の機会と脅威(流通編)	(株)野村総合研究所 藤野 直明 氏、梶野 真弘 氏
	令和7年1月24日～25日	DX・第4次産業革命の機会と脅威(物流編)	(株)野村総合研究所 藤野 直明 氏、梶野 真弘 氏
本講座	令和6年10月18日～19日	IoT、第4次産業革命の全体像	早稲田大学大学院 吉江 修 氏
	令和6年11月8日～9日	プロジェクトスケジュール管理	早稲田大学大学院 藤村 茂 氏
	令和6年11月22日～23日	受注管理業務	大分高専 尾形 公一郎 氏 佐世保高専 柳生 義人 氏
	令和6年12月13日～14日	製品設計・生産設計と製造現場、 アフターマーケットとのデータの統合管理	熊本高専 田中 禎一 氏 鹿児島高専 島名 賢児 氏
	令和7年1月10日～11日	設計業務の効率化、製造実行管理、品質管理	北九州高専 宮本 章 氏

生産性向上スクールの実施

ロボット・IoT・AI等を活用した生産性向上支援事業

生産性向上スクールの開催

製造現場の管理者・現場リーダーなどを対象に、生産性向上や新事業開拓に必要なロボット・IoT・AIといった新技術を身に付けるための研修を実施。

実施期間：令和6年9月～11月(全10講座)
内 容：生産性向上のためのロボット編、デジタル・IoT編
受講者数：延べ94名



【スクールのカリキュラム(令和6年度)】

	No.	科 目	開 催 日
ロボット編	1	産業用ロボット基礎講座	9月26日
			10月18日
			10月31日
			11月18日
	2	産業用ロボット活用講座	10月3日
	3	人協働ロボット基礎講座	10月24日
			11月14日
	4	人協働ロボット活用講座	10月10日
	5	ロボットシミュレータ活用講座	11月7日
デジタル・IoT編	1	はじめてのkintone体験講座 操作とアプリ構築をサクッと学ぶ	10月4日
	2	今からできる!無償のRPA×BIツールで業務効率化	10月11日
	3	「IoT導入支援キット」による現場の見える化実習講座	11月12日
	4	実践!LINE WORKSで業務改善ハンズオンセミナー	11月19日
	5	生成AIでビジネスを変える～ChatGPTの使い方とAIの業務導入～	11月26日

提携セミナーの実施

ロボット及びデジタル関連企業等と提携し、地域企業の生産性向上に繋がるセミナーを開催しました。公募により募集した13社と提携して、計11回の実機見学・操作体験型のセミナーを開催し、受講者は、地域企業を中心に43社127名でした。

講座名	提携企業	開催日	受講者数
AI需要予測の活用方法と運用のポイントセミナー	AI CROSS(株)	7月10日	19名
中小製造業のためのカメラ付協働ロボット活用セミナー	プレミアムエンジニアリング(株)	7月17日	13名
Excel生産管理と現場改善	ものレボ(株)	8月7日	11名
業務自動化・効率化・変革セミナー [レガシー脱却・AI活用・スマートアバター等]	ギグワークスクロスアイティ(株) (有)BOND	9月4日	11名
CAD/CAM自動化セミナー	(株)ブレイン	9月11日	12名
在庫管理セミナー	(株)スマートショッピング (株)バーネット	9月27日	10名
基礎から学べる空気圧機器体験セミナー	SMC(株)	10月17日	9名
生成AI業務活用セミナー	(株)ビビンコ	10月23日	8名
「ロボット×外観検査」 ～AI×光学ズーム搭載ビジョンシステムのご紹介～	(株)キーエンス	10月29日	7名
IoTセキュリティセミナー	サイエンスパーク(株)	11月13日	9名
協働ロボット・最新技術体験セミナー	ファナック(株)	11月27日	18名
合 計			127名

デジタル人材教育プログラム(everiGo)の実施

北九州市近郊でシステムエンジニアを目指すIT未経験の方向けのWEB系システム開発プログラマ育成プログラムeveriGo(事業主体:北九州市立大学)について、FAISはプログラム運営、連携先企業の紹介等をサポートしています。



未経験ゼロから半年間でIT就職を目指す人材育成プログラム



生産性向上リーディングモデル創出事業

IoTによる中小企業の生産性向上をテーマに、北九州地域の中小企業(製造業含む)の業務の改善を促進し、売上増加、雇用拡大を通じた北九州市経済の活性化につなげるための活動を行っています。特に、各社の生産性向上に対する意識の向上を図るため、先導できるプロジェクト(リーディングプロジェクト)を共同実証方式で実施しています。

	会社名(業種)	目的
継続実施・経過観測	(株)戸畑ターレット工作所(非鉄部品製造)	工程進捗を把握し、生産性向上・およびスタッフ管理コスト削減を目指す。
	日本鉄塔工業(株)(鋼構造物の製造)	工程進捗を把握し能力アップを狙う。
	吉川工業ファインテック(株)(プレス加工業)	工場稼働率を把握し計画の精度向上を図る。
	(株)山本工作所(ドラム缶製造)	プレス機故障を予兆段階で把握し停止防止を図る。
	ミシマ・オーエー・システム(株)(ソフトウェア開発)	データセンタUPS内蓄電池の法定検査の省力化を図る。
	溝上酒造(株)(醸造業)	定期的な温度管理を自動化し、省力化する。
	イワキ工業(株)(特殊ねじ製造)	現在制御盤・制御装置の製造
	石川金属工業(株)(自動車部品製造)	蒸着メッキで使用する、治具台車の利用回数を自動カウントし、メンテ時期を把握したい。
	和田合金(株)(銅合金鋳物鋳造及び機械加工)	加工・工作機械(旋盤)の、実稼働率を把握することで、効率化によるコスト減と負荷の低減を図りたい。
	(株)勝山工作所(金属機械加工製造)	金属加工機の実稼働状況を知ること、リードタイム計測・設備稼働率向上による生産性UPを図りたい。
	(株)KOTANI(水回り手摺製造)	工程別の進捗状況を把握し、生産性向上・およびスタッフ管理コスト削減を目指す。
	石川金属工業(株)(自動車部品製造)	自動車部品のメッキ工程で使用する、吊手金具の利用回数を自動カウントし、交換・メンテ時期を把握したい。
	光洋金属工業(電磁鋼板加工)	工程別の進捗状況を把握し、生産性向上・およびスタッフ管理コスト削減を目指す。
	吉川工業ファインテック(株)(第二の課題の改善)	QRコードを活用した生産情報一括管理の実現
	(株)アイム製作所(制御盤・制御装置の製造)	社員の工程情報を電子化することで、個人スケジュール、部門工程、受注工程、工程管理情報の一元化を実現する。
令和6年度完了	吉川工業ファインテック(株)	AI技術を応用した稼働計画シミュレーション
	和田合金(株)	人的実加工時間を見える化し、コスト減と負荷の低減に役立てたい。
新規計画	【農業DX】(株)桃源舎(実証農家拡大中)	最新のIT技術を応用することにより、先進的な都市型農業の実現(農業DX)を目指す。
	(株)不動工業(企画・提案実施中)	出荷品の個数チェックをミスなく効率的に実施し、積み残しや、出荷品の検索の手間を削減したい。

中小企業・ベンチャー企業への総合的支援

▶ 中小企業の総合的支援

中小企業の経営支援

◎総合相談・休日創業相談の実施

中小企業診断士等の専門家を窓口配置し、市内中小企業が抱える様々な相談に対応しています。また、平日に来訪が困難な創業予定者には、休日(土・日)相談を実施しています。

●令和6年度実績：総合相談件数501件

◎巡回相談の実施

直接企業に出向いて様々な相談に応じる巡回相談員を配置し、訪問企業に対し支援メニューや支援担当部署等の紹介をしています。

●令和6年度実績：294社

◎専門家の派遣

経営革新等に積極的に取り組もうとする中小企業に対し、専門家(登録約150名)を派遣して支援をしています。

●令和6年度実績：3社、15回

中小企業支援センター



チーフマネージャー
米澤 博 (よねざわ ひろし)
地元金融機関出身
金融機関での経験を活かし、中小企業の資金繰りや融資相談、創業相談など、経営全般に関わる悩みを積極的にサポートする。



マネージャー
堀井 隆志 (もみい たかし)
アルテックソリューションズ(株)
代表取締役
一級建築士、中小企業診断士。
経営者、エンジニア及び経営コンサルタントの経験を活かして、中小企業の持続的成長を支える仕組みづくりなど総合的な支援を行う。



マネージャー
北嶋 知美 (きたしま ともみ)
(株)ヒロインコンサルティング
代表取締役
中小企業診断士の資格を持ち、戦略策定・実行、経営改善、生産性向上、販路開拓等、中小企業の幅広い悩みに対応し課題解決をサポートする。



マネージャー
野島 英樹 (のしま ひでき)
野島中小企業診断士事務所代表
大手外食企業で現場や経営に携わり、中小企業診断士として独立。
現場経験を活かした実行力と企業の「想い」の達成に向けて伴走をしている。



巡回相談・マッチング担当
村田 信敏 (むらた のぶとし)
中小企業診断士
市内の製造業を対象に訪問し、各種相談に応じる。支援施策や担当部署を紹介。あわせて、製造業の受発注のマッチングを担当。

◎創業支援の実施

開業資金の調達や事業計画の策定など創業に関する相談や創業セミナーを開催することにより、創業希望者に対し開業までの支援を行っています。

●令和6年度実績：創業31社

◎マッチングコーディネートの実施

専門的知識や幅広い人脈を持つマッチング担当者が市内のものづくり中小企業の取引先や提携先を紹介し、販路開拓を支援します。

●令和6年度実績：マッチング件数7件、成約件数1件

◎知的財産活用の実施

北九州地域の中小企業の新技術・新商品開発や新たな特許取得等を促進するため、知的財産権に関する相談・指導や特許活用等の支援を行っています。

●令和6年度実績：発明相談45件、特許相談563件



窓口支援担当者
武内 洋介 (たけうち ようすけ)
住宅設備メーカー出身。
研究・開発、製造の経験を活かし特許・意匠・商標の出願サポートに留まらず、知的財産を通して企業の業績向上に貢献できるような支援を行う。

情報発信

◎北九州市中小企業支援ガイドブック

北九州市内の中小企業が利用可能な行政等の支援施策をまとめた冊子です。
中小企業支援センターで無料配布しています。

●発行部数 6,000部



◎メールマガジンによる情報発信

「中小企業支援センタートピックス」を配信中。
補助金、セミナー情報等中小企業に関するトピックスを掲載しています。

●配信先 約3,680件(令和7年3月現在)

●毎週木曜日配信

◎ネットワーク北九州の発行

中小企業支援施策の紹介等をまとめた市内中小企業向け情報紙
「ネットワーク 北九州」を毎月1日に発行しています。

●中小企業支援センターHPからダウンロード可能です
<https://www.ktc.ksrp.or.jp/about/#network>



セミナーの開催

◎実践起業塾2024

起業予定者、起業後間もない方を対象に、起業の心構え、事業計画書作成の
基礎知識や財務、会計などについて学ぶ講座を開催しました。

●令和6年度実績 受講者10名



その他中小企業支援

◎事業承継相談窓口

事業承継(親族・従業員・M&A)に関するあらゆるご相談に対応します。

●毎月第2・4水曜日 13:00~17:00

令和6年度実績 41件

◎インボイス制度・電子帳簿保存法相談窓口

●毎月第1・3水曜日 13:00~16:00

財団運営

評議員名簿（令和7年8月5日現在）

五十音順

氏名	役職名
麻生 弘之	九州電力(株)執行役員北九州支店長
栗野 秀慈	九州歯科大学長
石橋 雅貴	福岡県商工部新産業振興課長
上田 陽一	産業医科大学長
片山 憲一	北九州市副市長
片山 佳樹	北九州工業高等専門学校長
津田 純嗣	北九州商工会議所会頭
田原 竜夫	産業技術総合研究所 九州センター 所長代理
山本 和男	(公社)九州機械工業振興会会長

役員名簿（令和7年8月5日現在）

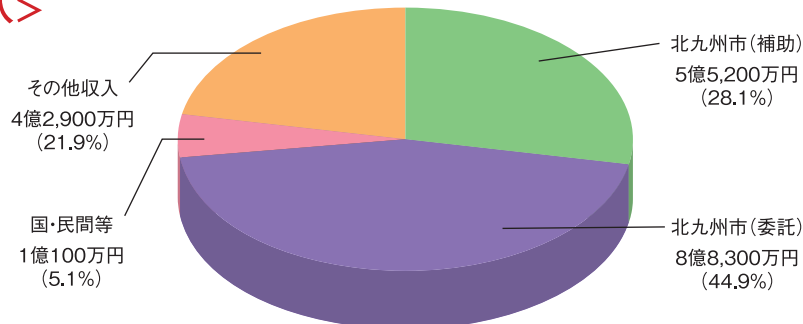
五十音順

役員の種類	氏名	役職名
理事長	松永 守央	(公財)北九州産業学術推進機構理事長
副理事長	白水 浩一	トヨタ自動車株式会社 デジタルソフト開発センター 電子プラットフォーム開発 チーフプロジェクトリーダー
専務理事	北里 勝利	(公財)北九州産業学術推進機構専務理事
理事	井上 文人	早稲田大学常任理事
〃	柴田 泰平	北九州市産業経済局長
〃	自見 榮祐	(一社)北九州中小企業団体連合会顧問
〃	中武 繁寿	北九州市立大学副学長
〃	中藤 良久	九州工業大学副学長
〃	矢野 宏之	北九州情報サービス産業振興協会会長
監事	岩男 英徳	(株)西日本シティ銀行執行役員北九州総本部長
〃	中村 彰雄	北九州市会計室長

令和6年度 決算資料

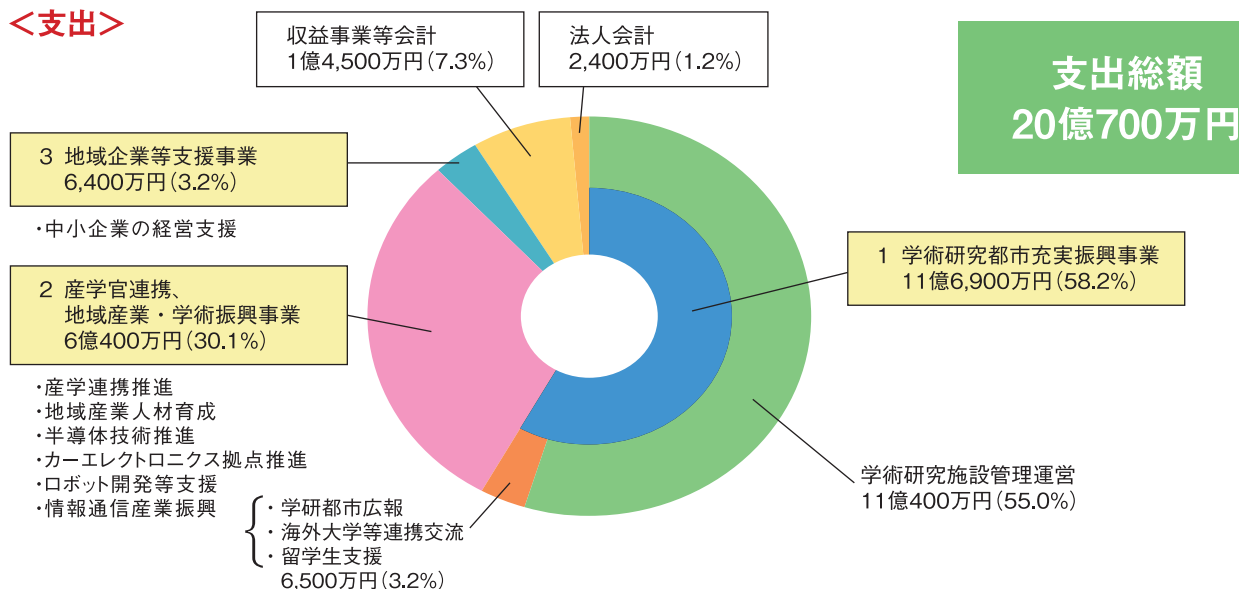
収入および支出内訳

<収入>



収入総額
19億6,500万円

<支出>



支出総額
20億700万円

貸借対照表

令和7年3月31日現在
(公財)北九州産業学術推進機構 (単位:円)

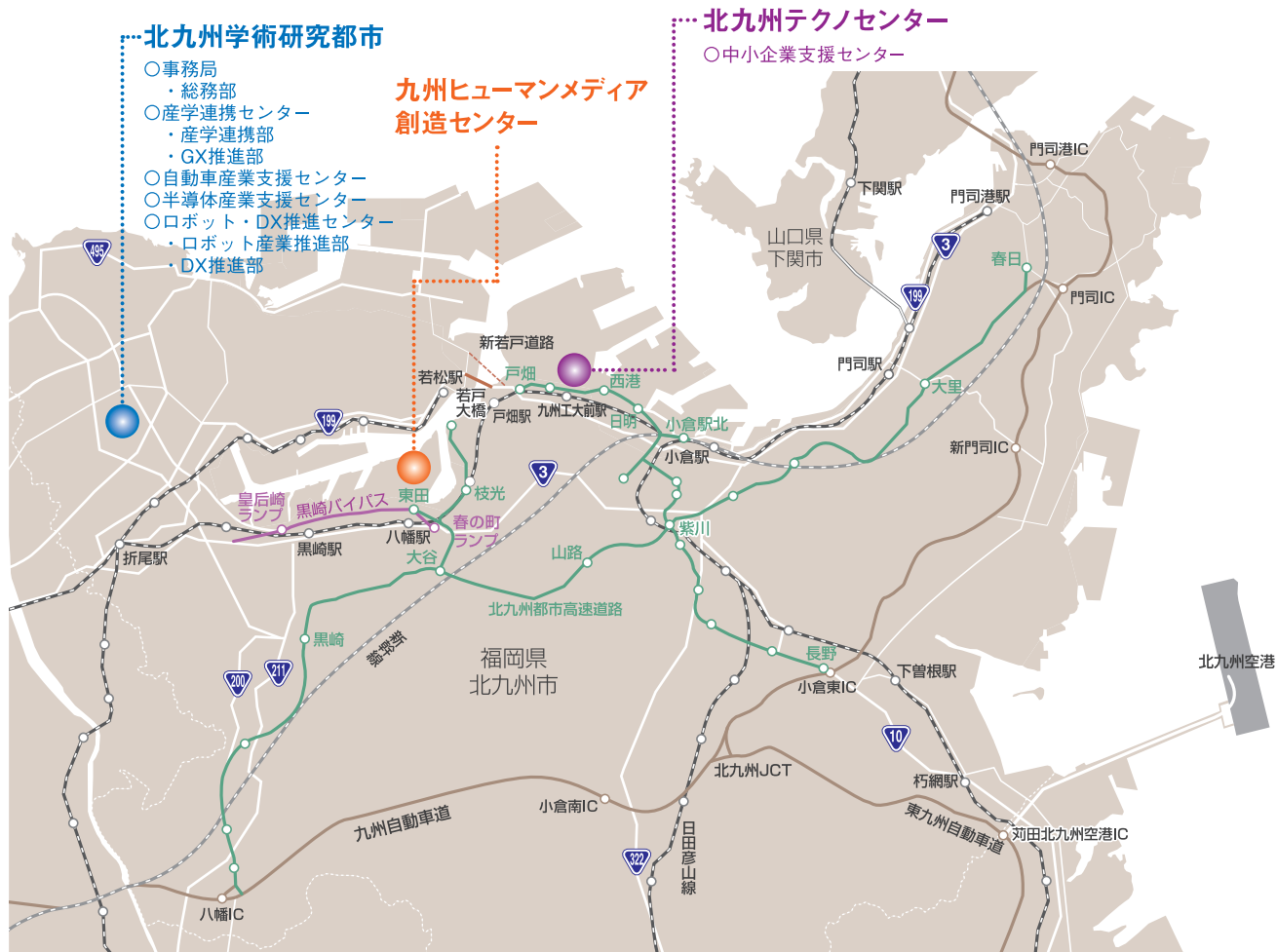
科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	525,030,124	558,586,315	△ 33,556,191
未収金	288,843,518	287,075,311	1,768,207
流動資産合計	813,873,642	845,661,626	△ 31,787,984
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	286,062,778	285,221,176	841,602
普通預金	278,824	278,824	0
基本財産合計	286,341,602	285,500,000	841,602
(2) 特定資産			
建物	557,949,578	576,617,036	△ 18,667,458
建物付属設備	5,856,380	14,100,735	△ 8,244,355
構築物	1	1	0
機械設備	11,241,870	13,652,732	△ 2,410,862
什器備品	9,753,153	14,018,346	△ 4,265,193
留学生支援事業積立資産	1,000,000	0	1,000,000
学研都市充実強化積立資産	9,636,411	9,636,411	0
特定プロジェクト支援積立資産	16,055,760	16,055,760	0
旭興産研究支援事業積立資産	474,527	473,448	1,079
上野精機人材育成事業積立資産	13,899,500	8,998,000	4,901,500
修繕積立資産	198,320,000	191,320,000	7,000,000
普通預金	177,320,000	170,320,000	7,000,000
投資有価証券	21,000,000	21,000,000	0
ビル附属設備積立資産	148,209,190	137,209,190	11,000,000
預り敷金積立資産	75,705,696	79,714,560	△ 4,008,864
特定資産合計	1,048,102,066	1,061,796,219	△ 13,694,153
(3) その他固定資産			
建物付属設備	23,782,043	25,979,777	△ 2,197,734
構築物	363,794	385,299	△ 21,505
車両運搬具	0	1	△ 1
機械設備	2,474,745	3,391,605	△ 916,860
什器備品	14,307,841	17,720,767	△ 3,412,926
無形固定資産	3,651,967	4,790,648	△ 1,138,681
電話加入権	73,000	73,000	0
保証金	20,000	20,000	0
リサイクル預託金	6,960	10,480	△ 3,520
長期未収金	69,002	69,002	0
その他固定資産合計	44,749,352	52,440,579	△ 7,691,227
固定資産合計	1,379,193,020	1,399,736,798	△ 20,543,778
資産合計	2,193,066,662	2,245,398,424	△ 52,331,762
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	256,803,536	242,637,933	14,165,603
預り金	9,412,159	13,165,893	△ 3,753,734
流動負債合計	266,215,695	255,803,826	10,411,869
2. 固定負債			
受入保証金(預り敷金)	75,705,696	79,714,560	△ 4,008,864
固定負債合計	75,705,696	79,714,560	△ 4,008,864
負債合計	341,921,391	335,518,386	6,403,005
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
北九州市補助金	314,279,716	330,429,267	△ 16,149,551
国庫補助金	258,790,951	268,197,020	△ 9,406,069
寄付金	215,374,027	209,471,448	5,902,579
基本財産受取利息	841,602	0	841,602
指定正味財産合計	789,286,296	808,097,735	△ 18,811,439
(うち基本財産への充当額)	(200,841,602)	(200,000,000)	(841,602)
(うち特定資産への充当額)	(586,491,540)	(603,415,133)	(△16,923,593)
2. 一般正味財産	1,061,858,975	1,101,782,303	△ 39,923,328
(うち基本財産への充当額)	(85,500,000)	(85,500,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(461,610,526)	(458,381,086)	(3,229,440)
正味財産合計	1,851,145,271	1,909,880,038	△ 58,734,767
負債及び正味財産合計	2,193,066,662	2,245,398,424	△ 52,331,762

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
(公財)北九州産業学術推進機構 (単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益			
基本財産受取利息	1,832,300	1,832,300	0
②特定資産運用益			
特定資産受取利息	135,600	361,216	△ 225,616
③事業収益			
北九州市受託事業収益	883,020,000	921,869,999	△ 38,849,999
その他受託事業収益	95,368,819	94,080,763	1,288,056
TLOライセンス事業収益	431,772	780,335	△ 348,563
その他事業収益	215,325,506	169,122,558	46,202,948
収益事業等会計収益	21,304,436	20,822,606	481,830
ビル事業収益	137,014,752	141,330,151	△ 4,315,399
④受取補助金等			
受取北九州市補助金	548,145,992	607,253,527	△ 59,107,535
受取国庫補助金	236,000	29,377,188	△ 29,141,188
受取補助金等振替額	29,078,441	29,115,125	△ 36,684
⑤受取寄付金			
受取寄付金	0	600,000	△ 600,000
受取寄付金振替額	22,067,421	17,471,405	4,596,016
⑥雑収益			
雑収益	1,084,739	265,806	818,933
経常収益計	1,955,045,778	2,034,282,979	△ 79,237,201
(2) 経常費用			
①事業費			
役員報酬	13,289,070	13,415,220	△ 126,150
給与	249,701,716	227,465,251	22,236,465
福利厚生費	56,000,476	52,300,882	3,699,594
会議費	7,148,248	3,279,742	3,868,506
渉外費	671,773	686,339	△ 14,566
旅費交通費	13,560,131	14,815,310	△ 1,255,179
通信運搬費	7,447,526	8,082,120	△ 634,594
減価償却費	46,929,883	45,884,818	1,045,065
消耗品費	32,023,804	27,923,213	4,100,591
修繕費	103,746,524	94,303,726	9,442,798
印刷製本費	874,408	3,794,310	△ 2,919,902
新聞図書費	5,012,389	5,154,122	△ 141,733
燃料費	215,282	383,298	△ 168,016
光熱水費	257,484,169	195,858,955	61,625,214
賃借料	79,789,970	76,725,383	3,064,587
保険料	1,777,933	2,017,390	△ 239,457
諸謝金	72,430,074	68,513,380	3,916,694
租税公課	28,653,752	33,094,570	△ 4,440,818
委託費	690,973,799	710,801,710	△ 19,827,911
支払負担金	65,306,079	81,089,549	△ 15,783,470
支払助成金	203,317,219	282,067,254	△ 78,750,035
ライセンス料	178,486	237,668	△ 59,182
支払手数料	19,109,904	18,180,781	929,123
奨学金	12,200,000	12,550,000	△ 350,000
雑費	469,082	359,898	109,184

科目	当年度	前年度	増減
②管理費			
役員報酬	4,429,690	4,471,740	△ 42,050
給与	6,781,631	5,759,918	1,021,713
福利厚生費	1,338,562	1,560,715	△ 222,153
会議費	68,463	54,392	14,071
渉外費	55,393	76,112	△ 20,719
旅費交通費	1,837,770	1,529,710	308,060
通信運搬費	101,630	64,349	37,281
減価償却費	279,729	266,469	13,260
消耗品費	806,948	828,519	△ 21,571
修繕費	0	127,490	△ 127,490
印刷製本費	126,060	161,700	△ 35,640
新聞図書費	91,127	90,197	930
燃料費	208,457	175,628	32,829
光熱水費	81,978	60,937	21,041
賃借料	1,542,948	1,546,008	△ 3,060
保険料	164,570	133,860	30,710
諸謝金	840,000	840,000	0
租税公課	27,928	21,010	6,918
委託費	1,780,620	1,737,198	43,422
支払負担金	843,395	793,575	49,820
支払手数料	3,121,592	2,134,330	987,262
雑費	4,392	3,400	992
経常費用計	1,992,844,580	2,001,422,146	△ 8,577,566
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 37,798,802	32,860,833	△ 70,659,635
当期経常増減額	△ 37,798,802	32,860,833	△ 70,659,635
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
除却損失			
車両運搬具除却損	1	0	1
什器備品除却損	956,225	20	956,205
経常外費用計	956,226	20	956,206
当期経常外増減額	△ 956,226	△ 20	△ 956,206
税引前当期一般正味財産増減額	△ 38,755,028	32,860,813	△ 71,615,841
法人税・住民税及び事業税	1,168,300	1,209,500	△ 41,200
当期一般正味財産増減額	△ 39,923,328	31,651,313	△ 71,574,641
一般正味財産期首残高	1,101,782,303	1,070,130,990	31,651,313
一般正味財産期末残高	1,061,858,975	1,101,782,303	△ 39,923,328
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取北九州市補助金	3,522,821	7,175,049	△ 3,652,228
受取寄付金			
受取寄付金	27,970,000	21,930,000	6,040,000
基本財産受取利息	2,673,902	1,832,300	841,602
一般正味財産への振替額	△ 52,978,162	△ 48,418,830	△ 4,559,332
当期指定正味財産増減額	△ 18,811,439	△ 17,481,481	△ 1,329,958
指定正味財産期首残高	808,097,735	825,579,216	△ 17,481,481
指定正味財産期末残高	789,286,296	808,097,735	△ 18,811,439
Ⅲ 正味財産期末残高	1,851,145,271	1,909,880,038	△ 58,734,767



■北九州学術研究都市

- 【公共交通機関の場合】 JR折尾駅バス停 → 市営バス・西鉄バス → 学研都市ひびきの ※所要時間約20分
 北九州空港バス停 → 西鉄バス → JR朽網駅 → JR折尾駅 → 学研都市ひびきの
 北九州空港バス停 → エアポートバス → JR小倉駅 → JR折尾駅 → 学研都市ひびきの
- 【車利用の場合】 北九州都市高速道路 黒崎出入口（黒崎・折尾出口下車）折尾方面へ → 学研都市ひびきの
 ※北九州都市高速道路黒崎出入口からの所要時間約20分
 小倉都心 → 北九州都市高速道路 東田出入口 → 学研都市ひびきの
 ※小倉都心からの所要時間約30分

【北九州学術研究都市】



■中小企業支援センター

- 【公共交通機関の場合】 JR九州工大前駅下車 北側へ徒歩3分
 【車利用の場合】 戸畑方面より
 「新池三丁目交差点」より「若戸トンネル連絡道路」へ → 「若戸トンネル入口」を右折
 小倉方面より 国道199号線「中原東交差点」を北進 最初の信号を左折し直進

【中小企業支援センター】



問い合わせ先一覧

総務部	北九州学術研究都市内 産学連携センター1階 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-1	TEL 093-695-3111 FAX 093-695-3010 E-mail info@ksrp.or.jp
総務部（学術情報センター） 図書室	北九州学術研究都市内 学術情報センター2階 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの1-3	TEL 093-695-3150 FAX 093-695-3152 TEL 093-695-3151 FAX 093-695-3152
産学連携センター 産学連携部 / GX推進部	北九州学術研究都市内 産学連携センター2階 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-1	TEL 093-695-3006 FAX 093-695-3018 E-mail iac@ksrp.or.jp
自動車産業支援センター	北九州学術研究都市内 産学連携センター2階 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-1	TEL 093-695-3685 FAX 093-695-3686 E-mail car@ksrp.or.jp
半導体産業支援センター	北九州学術研究都市内 産学連携センター2階 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-1	TEL 093-695-3007 FAX 093-695-3686 E-mail ksnet@ksrp.or.jp
ロボット・DX推進センター ロボット産業推進部 DX推進部	北九州学術研究都市内 技術開発交流センター1階 〒808-0138 北九州市若松区ひびきの北8-1	TEL 093-695-3085 FAX 093-695-3525 TEL 093-695-3077 FAX 093-695-3667 E-mail robodx@ksrp.or.jp
中小企業支援センター	北九州テクノセンター1階 〒804-0003 北九州市戸畑区中原新町2-1	TEL 093-873-1430 FAX 093-873-1450 E-mail k_info@ksrp.or.jp